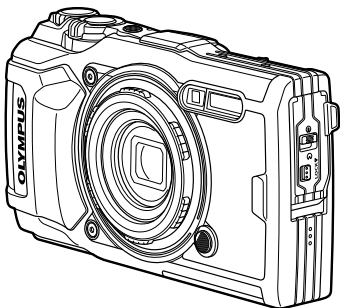


OLYMPUS

デジタルカメラ

TG-5

取扱説明書



Model No. : IM005

- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになった後も、必ず保管してください。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- カメラのファームウェアにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社サポートページをご覧ください。カスタマーサポートへお問い合わせください。

もくじ

同梱品を確認する	4
各部の名称	5





カメラの準備 6

電池とカードを入れる／取り出す ...	6
電池を充電する	8
電源を入れ、初期設定をする ...	10

かんたんに使う 11

静止画を撮る(Pモード)	11
静止画を見る(再生する)	12
複数の画像を選択する	13
再生メニューを使う	14
ムービーを撮る	17
ムービーを再生する	18
再生中の画像を消去する	19
パノラマ画像を スクロール再生する	19
画面表示	20
撮影画面の表示	20
再生画面の表示	22

撮影機能を使う 24

撮影モードを選ぶ	24
撮影モードの選び方	24
 (iオートモード)	24
A (Aモード)	25
C1 / C2 (カスタムモード) ...	25
SCN (シーンモード)	25
 (ムービーモード)	28
 (水中モード)	29
 (顕微鏡モード)	30
ズームを使う	30

撮影機能を使う(ダイレクト ボタン操作で設定)	31
フラッシュ撮影	31
露出補正	32
単写／連写	32
セルフタイマー	34
AFL (フォーカスロック)	34
ターゲット選択	35
自動追尾	35

撮影機能を使う (ライブコントロールで設定する) ...	36
ライブコントロールの使い方 ...	36







ログを記録する／使う(LOGモード) 46

ログを記録する／保存する	46
記録／保存したログを使う	47

便利な機能を使う 48

測位情報画面を表示する	48
画面表示	48
ワンタッチライトを使う	49

メニューを使う 50

メニューの使い方	52
 撮影メニュー 1	54
 撮影メニュー 2	56
 動画メニュー	58
 再生メニュー	59
 カスタムメニュー	64
 セットアップメニュー	72

スマートフォンと接続する 74

スマートフォンに接続する	75
スマートフォンに画像を転送する ...	76

スマートフォンから リモート撮影する	76
画像に位置情報をつける	77
接続の方法を変更する	78
パスワードを変更する	78
シェア予約を解除する	79
無線LAN設定の内容を リセットする	79

GPS機能を使う 80

GPS機能を使う前に (GPSアシストデータ)	80
----------------------------------	----

他の機器と接続して使う 82



カメラの画像をテレビで見る ...	82
テレビのリモコンを使う	83
画像をプリントする	84
ダイレクトプリント (PictBridge)	84
プリント予約(DPOF)	88
カメラをパソコンに接続する ...	91
パソコンに画像を取り込んで 保存する	92
ソフトウェアのインストール ...	93
オリンパスデジタルカメラ アップデーターのインストール ...	93
ユーザー登録について	93

使い方のヒント 94

故障かな?と思ったら	94
エラーメッセージ	95
撮影のヒント	99
再生・編集のヒント	101

その他 102

アフターサービス	102
----------------	-----

カメラのお手入れと保管	103
カメラのお手入れ	103
カメラの保管	104
別売の充電器を使う	104
海外での使用について	104
カードを使う	105
カードの撮影可能枚数(静止画) / 撮影可能時間(ムービー)	106
別売品を使う	109
オリンパスワイヤレスRC フラッシュシステムを 使って撮る	109
別売のコンバーターなどを使う ...	110
防水・耐衝撃性能について ...	113
撮影モード設定可能一覧	115
 設定可能一覧	116
 設定可能一覧	117
SCN 設定可能一覧	118
メニューのリセット/ カスタム一覧	120

安全にお使いいただくために 124

安全にお使いいただくために ...	124
使用上のご注意	128
その他のご注意	129
仕様	132
索引	134

作例写真をつかった撮影テクニック
ハウツー グッド ピクチャー

<http://www.olympus.co.jp/jp/imsf/webmanual/>

同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。

万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



デジタルカメラ



ストラップ



リチウムイオン電池
(LI-92B)



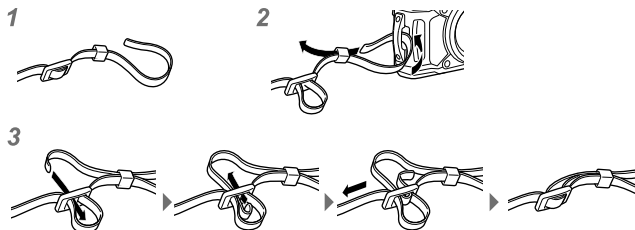
USB-ACアダプタ
(F-5AC)



USBケーブル
(CB-USB12)

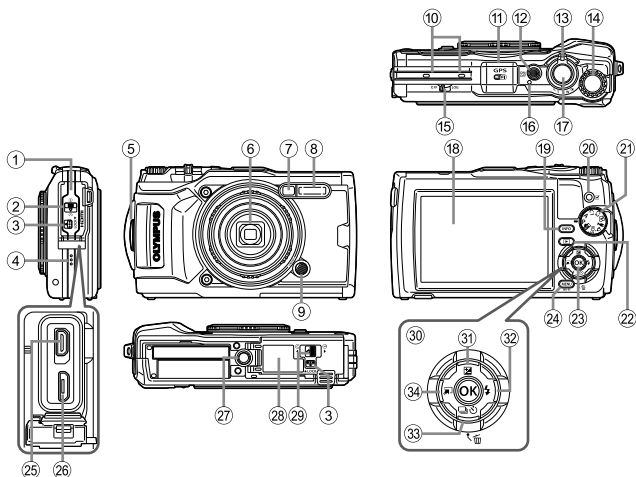
その他の付属品:取扱説明書(本書)、保証書

ストラップを取り付ける



- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

各部の名称



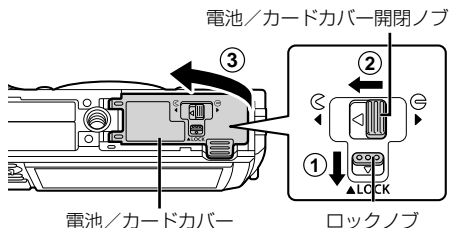
- | | |
|------------------------------------|---|
| ① コネクタカバー | ⑪ GPSアンテナ |
| ② コネクタカバー開閉ノブ | ⑫ ON/OFF ボタン |
| ③ ロックノブ | ⑬ ズームレバー |
| ④ スピーカー | ⑭ コントロールダイヤル |
| ⑤ ストラップ取り付け部 | ⑮ LOG レバー |
| ⑥ レンズ | ⑯ 動作ランプ |
| ⑦ セルフタイマーランプ／
ワンタッチライト／AFイルミネータ | ⑰ シャッターボタン |
| ⑧ フラッシュ | |
| ⑨ レンズリング取り外しボタン | |
| ⑩ ステレオマイク | ⑲ INFO ボタン |
| | ⑳ ● (ムービー) / 選択ボタン |
| | ㉑ モードダイヤル |
| | ㉒ ▶ (再生) ボタン |
| | ㉓ OK ボタン |
| | ㉔ MENU / Wi-Fi ボタン |
| | ㉕ HDMI マイクロコネクタ |
| | ㉖ マイクロ USB コネクタ |
| | ㉗ 三脚穴 |
| | ㉘ 電池／カードカバー |
| | ㉙ 電池／カードカバー開閉ノブ |
| | ㉚ 十字ボタン |
| | ㉛ 上／ ☒ (露出補正) ボタン |
| | ㉜ 右／ ⚡ (フラッシュ) ボタン |
| | ㉝ 下／ 📷 (ドライブ／セルフ) /
🗑 (消去) ボタン |
| | ㉞ 左／モード機能呼び出しボタン |

カメラの準備

電池とカードを入れる／取り出す

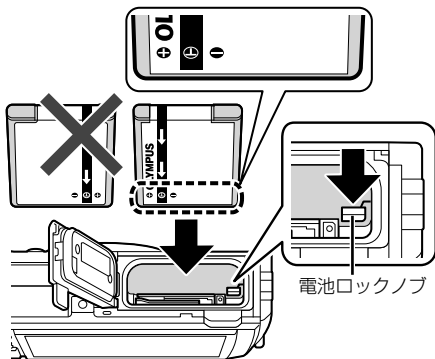
1 ①、②、③の手順で電池／カードカバーを開く。

- 電池／カードカバーの開け閉めの際は、電源を切ってください。



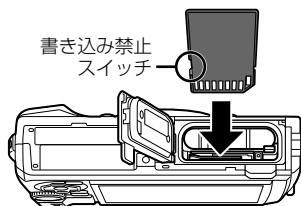
2 電池ロックノブを矢印の方向に押しながら電池を入れる。

- 電池は \ominus を電池ロックノブ側にして図のように入れてください。
- 誤った向きで電池を入れると、電源が入りません。必ず正しい向きで入れてください。
- 電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押しロックを外して取り出します。



3 カードをまっすぐに差し、カチッと音がするまで押し込む。

- カードの金属部には直接手を触れないでください。
- このカメラで使えるカード以外は、絶対にカメラに入れないでください。



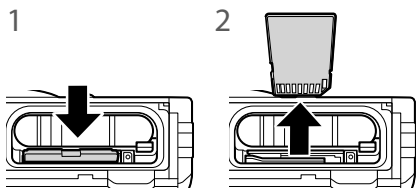
このカメラで使えるカード

SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード(市販)

(動作確認済みカードは当社ホームページをご確認ください。)

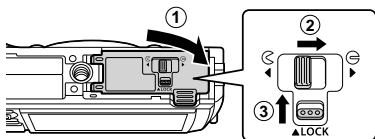
カードを取り出すには

カチッと音がするまでカードを押し込み、ゆっくり戻してから、カードをつまんで取り出します。



4 ①、②、③の手順で電池／カードカバーを閉じる。

- カメラをご使用の際は、必ず電池／カードカバーを閉じロックをしてください。

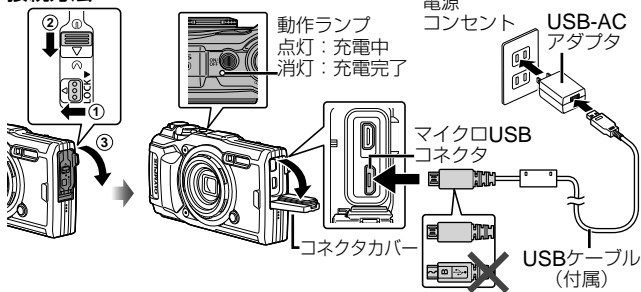


電池を充電する

1 カメラに電池が入っていることを確認し、USBケーブル、USB-ACアダプタ、電源コンセントを接続する。

- お買い上げのとき、電池は十分に充電されていません。お使いになる前に、動作ランプが消えるまで(最長約3時間)電池を充電してください。

接続方法



2 表示された画面で[充電]を選択して[OK]ボタンを押す。



海外での充電については「海外での使用について」(P. 104)をご覧ください。

- 付属または当社指定以外のUSBケーブルは絶対に使用しないでください。発煙や発火の恐れがあります。
- 充電が完了したら、必ずUSB-ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電池については「電池の取扱いについて」(P. 126)、およびUSB-ACアダプタについては「USB-ACアダプタの取扱いについて」(P. 126)をご覧ください。
- 電池の充電中に、動作ランプが点灯しない場合は、ケーブルを再接続してください。
- モニターに「接続されていません」と表示された場合は、一度ケーブルを外し、再度接続してください。

電池の充電時期

右のエラーメッセージが表示されたら電池を充電してください。

赤く点滅



エラーメッセージ



電源を入れ、初期設定をする

初めて電源を入れたときは、モニターに表示されるメニュー表示等の言語の設定、日付の設定をする画面が表示されます。

設定した日時を変更するときは **↑** [日時設定] (P. 72)をご覧ください。

1 **ON/OFF** ボタンを押して電源を入れ、十字ボタン(上下左右)またはコントロールダイヤルで言語を選び、**OK** ボタンを押す。

- **ON/OFF** ボタンを押しても電源が入らないときは、電池の向きを確認してください。 **電池とカードを入れる／取り出す** (P. 6)

2 十字ボタン(上下)またはコントロールダイヤルで[年]を選ぶ。



3 十字ボタン(右)で[年]を確定する。



4 手順2、3と同様に、十字ボタン(上下左右)で[月]、[日]、[時刻] (時、分、秒)、[年／月／日] (日付の順序)を設定したら、**OK** ボタンを押す。

5 十字ボタン(上下)で地域を選び、**OK** ボタンを押す。

- **INFO** ボタンでサマータイムの設定ができます。



かんたんに使う

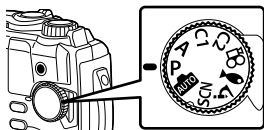
静止画を撮る(Pモード)

1 ON/OFF ボタンを押して電源を入れる。

モニターが点灯します。

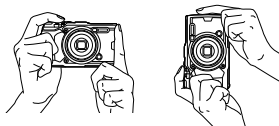
2 モードダイヤルをPにする。

Pモードは被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定する撮影モードです。



3 カメラを構えて構図を決める。

- カメラを構えるときは、フラッシュやマイク等に指がかからないようご注意ください。



4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。もう一度やり直してください。

- 適正露出が得られない場合は、絞り値とシャッター速度表示が点滅します。



5 カメラが揺れないよう、シャッターボタンを静かに全押しして撮影する。

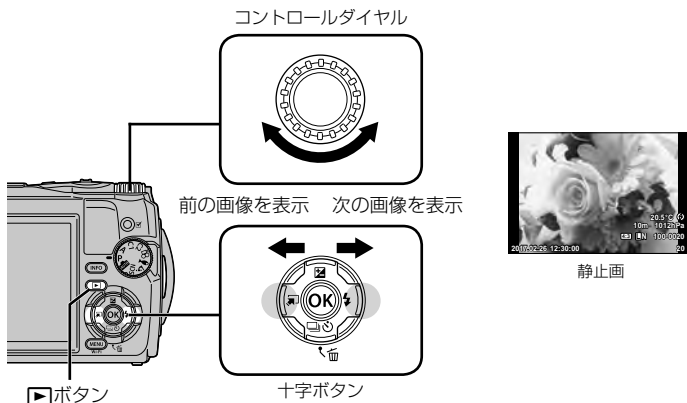


静止画を見る(再生する)

カメラの電源を**ON**にする。

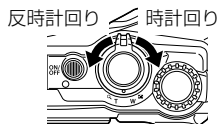
▶ボタンを押す。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- 十字ボタン(左右)を押すかコントロールダイヤルを回すと画像を選択できます。



インデックス再生／カレンダー再生

- 1コマ再生でズームレバーを反時計回りに回すとインデックス再生します。さらに回すとインデックス再生のコマ数が変更され、最後にカレンダー再生に変わります。📷 [表示] (P. 64)
- 十字ボタン(上下左右)またはコントロールダイヤルでカーソルを移動させます。
- ズームレバーを時計回りに回すと、カレンダー再生、インデックス再生、1コマ再生の順に再生画面が戻ります。



クローズアップ再生

- 1コマ再生でズームレバーを時計回りに回すと2倍から最大14倍まで拡大表示され、反時計回りに回すと縮小表示されます。OKボタンを押すと1コマ再生に戻ります。
- 十字ボタン(上下左右)を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。
- 拡大表示中に**INFO**ボタンを押してから十字ボタン(左右)を押すと、表示中の拡大倍率を固定したまま画像を選択できます。再度**INFO**ボタンを押すと、画面をスクロールできる状態に戻ります。コントロールダイヤルを回しても画像の選択ができます。



複数の画像を選択する

複数の画像を選択し、一括して[プロテクト] (P. 15)・[選択コマ消去] (P. 19)・[選択コマシェア予約] (P. 15)をすることができます。画像を選択するには、再生画面で選択したい画像を表示するか、インデックス再生画面(P. 12)で選択したい画像を選び、**Ⓢ**(ムービー)ボタンを押します。選択した画像には**✓**が表示されます。もう一度押すと解除されます。

再生メニューを使う

画像の再生中に \odot ボタンを押すと再生メニューが表示されます。使いたい機能を選び、 \odot ボタンを押して選択します。選択中の画像の種類によって表示される機能が異なります。

選択できる機能

	RAW	JPEG	RAW+JPEG	ムービー
♪再生	○	○	○	×
RAW編集	○	×	○	×
JPEG編集	×	○	○	×
ムービー再生	×	×	×	○
ムービー編集	×	×	×	○
シェア予約	×	○	○	○
プロテクト	○	○	○	○
録音	○	○	○	×
回転	○	○	○	×
スライドショー	○	○	○	○
画像合成	○	×	○	×
プリント予約	×	○	○	×
1コマ消去	○	○	○	○

♪再生

録音した音声(P. 15)と静止画を同時に再生します。十字ボタン(上下)で音量を調節します。**MENU**ボタンまたは \odot ボタンを押すと再生を終了します。

RAW編集

設定に合わせて編集したJPEG画像を作ります。🔍 「RAW編集」(P. 60)

JPEG編集

JPEG画像を編集できます。🔍 「JPEG編集」(P. 60)

ムービー再生

選択中のムービーを再生します。🔍 「ムービーを再生する」(P. 18)

ムービー編集

ムービーを編集できます。🔍 「静止画切り出し(ムービー編集)」、「トリミング(ムービー編集)」(P. 62)

シェア予約

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。また、シェア予約した画像だけを閲覧させることもできます。十字ボタン(上下)を押すと画像にシェア予約がつき、🔒が表示されます。再度十字ボタン(上下)を押すと解除されます。あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。

🔍 「複数の画像を選択する」(P. 13)、「スマートフォンに画像を転送する」(P. 76)

プロテクト

画像を誤って消さないように保護します。十字ボタン(上下)を押すと、画像に🔒 (プロテクトマーク)が付きます。再度十字ボタン(上下)を押すと解除されます。あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。🔍 「複数の画像を選択する」(P. 13)

録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。🔍 「録音」(P. 62)

回転

撮影した画像を回転させることができます。十字ボタン(上下)を押すたびに画像が回転し、🔄 ボタンを押すと設定を終了します。

- 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
- ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。

スライドショー

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。

🔍 「画像を自動再生する」▶️ [スライドショー] (P. 59)

画像合成

撮影したRAW画像を最大3コマまで重ねて合成し、別の画像として保存します。

🔍 「画像合成」 (P. 63)

プリント予約

カード内の画像に、プリントする枚数や日付印刷を設定できます。

🔍 「プリント予約(DPOF)」 (P. 88)

1コマ消去

再生中の画像を消去します。🔍 「再生中の画像を消去する」 (P. 19)

ムービーを撮る

1 ◎ (ムービー)ボタンを押して撮影をはじめる。

- 設定している撮影モードに応じて、ムービーが撮影されます。一部の撮影モードでは撮影モードの効果が得られない場合があります。



- 音声も同時に録音されます。
- CMOSのカメラの場合は、ローリングシャッターによる動体歪みという現象が発生します。これは、動きの速い被写体や手ぶ

れの時に撮影画像に歪みが発生する物理現象です。特に長焦点で使用すると、この現象が顕著になります。

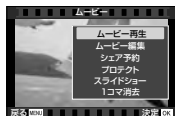


2 ◎ (ムービー)ボタンをもう一度押して撮影を終了する。

- ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- 次の場合は、UHS-IのUHSスピードクラス3以上をご使用ください。
🔗 (ムービーモード)のサブモードが[4K]または[HS]のとき／ビットレートが[Super Fine]のとき
- モードダイヤルを🔗に設定すると、サブモードを変更することで4Kムービーやハイスピードムービーも撮影できます。🔗🔗 (ムービーモード) (P. 28)

ムービーを再生する

1コマ再生でムービーを選んで \odot ボタンを押すと再生メニューが表示されます。[ムービー再生]を選択して \odot ボタンを押すとムービー再生が始まります。



再生中の操作

一時停止する	\odot ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に \odot ボタンを押すと、再生を再開します。
早送りする	十字ボタン(右)を押すと、早送りをします。さらに十字ボタン(右)を押すと、早送りの速度が早くなります。
巻き戻しする	十字ボタン(左)を押すと、巻き戻しします。さらに十字ボタン(左)を押すと巻き戻しの速度が早くなります。
音量を調節する	十字ボタン(上下)で音量を調節します。

一時停止中の操作

頭出しする	十字ボタン(上)で先頭のコマを、十字ボタン(下)で最後尾のコマを表示します。
コマ送りする／ コマ戻しする	十字ボタン(左右)を押すかコントロールダイヤルを回すと、コマ送り／コマ戻しします。十字ボタン(左右)を押し続けると、再生／逆再生します。
再生を再開する	\odot ボタンを押すと、再生を再開します。

ムービー再生を中止するには

MENUボタンを押します。

- パソコンでムービーを再生する場合、**OLYMPUS Viewer 3 (P. 93)**のご使用をおすすめします。ソフトウェアは最新のバージョンをお使いください。**OLYMPUS Viewer 3**を最初にご使用になる際、カメラをパソコンに接続しソフトウェアを起動してください。

再生中の画像を消去する

1 消去する画像の再生中に 🗑️を押す。

- ムービーを消去する場合は、消去するムービーを選んで🗑️を押します。



2 十字ボタン(上下)で[実行]を選び、ⓄKボタンを押す。

- 画像を選択して消去したり(P. 13)、一度に全コマ消去することもあります(P. 72)。

パノラマ画像をスクロール再生する

複数の画像をつなぎ合わせたパノラマ画像をスクロール再生することができます。

1 1コマ再生でパノラマ画像を選ぶ。

2 ズームレバーを時計回りに回す。

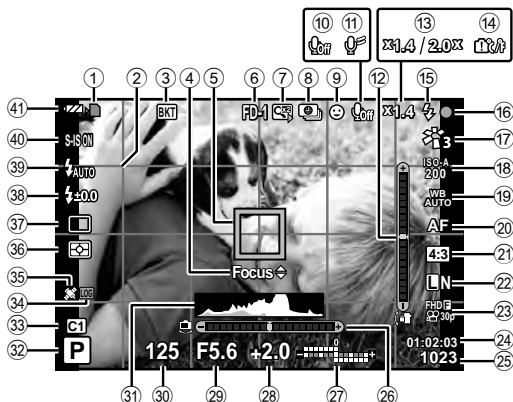
- 十字ボタン(上下左右)を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。
- パノラマ画像のスクロール再生中、さらにズームレバーを時計回りに回すと2倍から最大14倍まで拡大表示され、反時計回りに回すと縮小表示されます。ⓄKボタンを押すと1コマ再生に戻ります。
- 拡大表示中に**INFO**ボタンを押してから十字ボタン(左右)を押すと、表示中の拡大倍率を固定したまま画像を選択できます。再度**INFO**ボタンを押すと、画面をスクロールできる状態に戻ります。コントロールダイヤルを回しても画像の選択ができます。



再生中の範囲

画面表示

撮影画面の表示



No.	名称
①	カード書き込み中
②	罫線
③	ブラケットアイコン
④	AF微調整操作ガイド
⑤	AFターゲットマーク
⑥	アクセサリ
⑦	デジタルズーム倍率*1
⑧	インターバル撮影
⑨	顔優先
⑩	ムービー録音
⑪	風切り音低減
⑫	水準器(垂直方向)

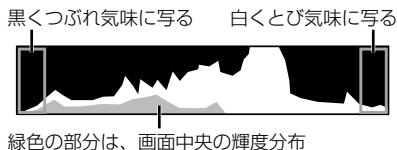
No.	名称
⑬	光学ズーム倍率／像倍率*1
⑭	内部温度上昇警告
⑮	フラッシュ(点滅:充電中、点灯:充電完了)
⑯	合焦マーク
⑰	ピクチャーモード
⑱	ISO感度
⑲	ホワイトバランス
⑳	AF方式
㉑	アスペクト
㉒	画質モード(静止画)
㉓	画質モード(ムービー)
㉔	ムービー撮影可能時間

*1 [Fn] 顕微鏡コントロール (P. 30) 使用時は常に表示されます。

No.	名称
②5	撮影可能枚数
②6	水準器(水平方向)
②7	上：フラッシュ補正 下：露出補正
②8	露出補正
②9	絞り値
③0	シャッター速度
③1	ヒストグラム
③2	撮影モード

No.	名称
③3	カスタムモード
③4	LOGアイコン／LOG警告アイコン
③5	GPSアイコン
③6	測光
③7	ドライブ／セルフ／プロキャプチャー
③8	フラッシュ補正值
③9	フラッシュモード
④0	手ぶれ補正
④1	電池残量

ヒストグラム表示の意味



表示の切り換え

INFOボタンを押す毎に表示(基本情報表示*1／表示Off／ヒストグラム表示(カスタム表示1)／水準器表示(カスタム表示2))が切り換わります。

- カスタム表示1とカスタム表示2の設定は変更できます。[INFO] [Info表示設定]の[LV-Info] (P. 64)
- INFO**ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。

*1 (ムービーモード)の撮影待機中は表示されません。

水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示に誤差がある場合は、水準器調整(P. 71)を行ってください。

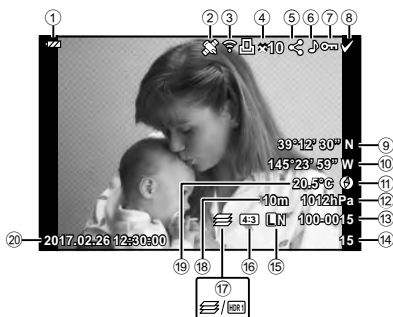
再生画面の表示

表示の切り換え

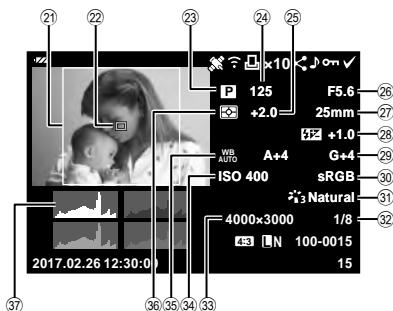
INFO ボタンを押す毎に表示(簡易表示/総合表示/表示Off)が切り換わります。

- 再生時の情報表示に、ヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示を追加できます。 [] /Info表示設定の [] Info (P. 64)

簡易表示



総合表示





No.	名称	簡易	総合	Off
①	電池残量	○	○	—
②	GPS位置情報有り	○	○	—
③	Eye-Fi送信情報／Wi-Fi	○	○	—
④	プリント予約／枚数	○	○	—
⑤	シェア予約	○	○	—
⑥	録音	○	○	—
⑦	プロテクト	○	○	—
⑧	画像選択	○	○	○
⑨	緯度	○	—	—
⑩	経度	○	—	—
⑪	方位表示	○	—	—
⑫	気圧	○	—	—
⑬	ファイル番号	○	○	—
⑭	コマ番号	○	○	—
⑮	画質モード	○	○	—
⑯	アスペクト比	○	○	—
⑰	深度合成／HDR画像	○	○	—
⑱	標高／水深	○	—	—
⑲	温度(水温)	○	—	—

No.	名称	簡易	総合	Off
⑳	撮影日時	○	○	—
㉑	アスペクト枠*1	○	○	○
㉒	AFターゲット表示	—	○	—
㉓	撮影モード	—	○	—
㉔	シャッター速度	—	○	—
㉕	露出補正	—	○	—
㉖	絞り値	—	○	—
㉗	焦点距離	—	○	—
㉘	フラッシュ補正	—	○	—
㉙	ホワイトバランス補正值	—	○	—
㉚	カラー設定	—	○	—
㉛	ピクチャーモード	—	○	—
㉜	圧縮率	—	○	—
㉝	画像サイズ	—	○	—
㉞	ISO感度	—	○	—
㉟	ホワイトバランス	—	○	—
㊱	測光方式	—	○	—
㊲	ヒストグラム	—	○	—




*1 画質モードをRAWに設定してアスペクト比を4:3以外に設定した場合のみ表示されます。

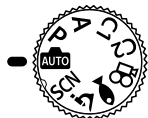
撮影機能を使う

撮影モードを選ぶ





撮影モードの選び方




モードダイヤルを回し、使うモードを指標に合わせる。

- 更に**SCN**、、、ではサブモードを選択します。




撮影モード一覧表

 (iオートモード).....	P. 24	SCN (シーンモード).....	P. 25
P (プログラム撮影).....	P. 11	 (ムービーモード).....	P. 28
A (Aモード).....	P. 25	 (水中モード).....	P. 29
C1 (カスタムモード1).....	P. 25	 (顕微鏡モード).....	P. 30
C2 (カスタムモード2).....	P. 25		

- 撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。 「撮影モード設定可能一覧」(P. 115)、「 設定可能一覧」(P. 116)、「**SCN** 設定可能一覧」(P. 118)、「 設定可能一覧」(P. 117)
- 一部の撮影モードは、撮影後に画像処理の時間がかかることがあります。

(iオートモード)

カメラが撮影シーンに最適な撮影モードを自動的に設定するフルオートモードです。カメラまかせで撮影するので、はじめての方には便利です。

1 モードダイヤルをに設定する。

2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。もう一度やり直してください。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する。

A (Aモード)

絞り値を設定すると、適正なシャッター速度をカメラが自動的に設定します。コントロールダイヤルを回すか、十字ボタン(上)を押してから十字ボタン(上下)を押すと、絞り値を変更できます。









C1 / C2 (カスタムモード)















撮影設定を[リセット／カスタム登録] (P. 54)で保存すると、その設定を呼び出して撮影できます。

- **C1、C2**のそれぞれに設定を保存できます。

SCN (シーンモード)

被写体や撮影シーンに合わせてサブモードを選ぶだけで、適切な設定で撮影できます。

サブモード1	サブモード2	内容
人を撮る	 ポートレート	人物撮影に適しています。
	 eポートレート	肌をなめらかに整えます。HDTVで見るのに適しています。
	 風景&人物	風景を背景にした人物の撮影に適しています。
	 夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。
	 キッズ	動きの活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
夜景を撮る	 夜景	カメラを三脚で固定しての夜景撮影に適しています。
	 夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。
	 手持ち夜景	三脚を使わない夜景撮影に適しています。手ぶれによる乱れを軽減します。

サブモード1	サブモード2	内容
夜景を撮る	 打ち上げ花火	夜空の花火を撮影するのに適しています。
	 ライブ コンポジット	自動的に複数枚を撮影して明るく変化した部分だけを合成します。長時間露光では全体が明るくなってしまうシーンでも、仕上がりをモニターで確認しながら、建物や夜空などを背景にして星などの光跡を表現できます。
動きのあるものを撮る	 スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。
	 キッズ	動きの活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
風景を撮る	 風景	風景撮影に適しています。
	 夕日	夕日の撮影に適しています。
	 ビーチ&スノー	晴天の海や雪山で撮影するのに適しています。
	 パノラマ	複数の画像をつなぎ合わせた画角の広い画像の撮影ができます。
	 HDR逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。
室内で撮る	 キャンドル ライト	キャンドルライトの光源下で撮影するのに適しています。温かみのある色が再現されます。
	 ポートレート	人物撮影に適しています。
	 eポートレート	肌をなめらかに整えます。HDTVで見るのに適しています。
	 キッズ	動きの活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
	 HDR逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。

1 モードダイヤルを**SCN**に設定する。

2 十字ボタン(上下左右)またはコントロールダイヤルでサブモード1を選択し、**OK** ボタンを押して決定する。

サブモード1



3 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルでサブモード2を選択し、**OK** ボタンを押して決定する。

- **MENU** ボタンを押すとサブモード1選択画面に戻ります。

サブモード2



- モードダイヤルが**SCN**のときに十字ボタン(左)を押すと、サブモード1選択画面が表示されます。
- ライブコントロール(P. 36)でもサブモード2を選択することができます。

ライブコンポジット]で撮影するには

- ① シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
 - カメラのぶれを抑えるために、しっかりした三脚でカメラを固定してお使いください。
 - 合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。
合焦マーク点滅時に、シャッターボタンを半押ししたまま**OK** ボタンを押すと、ピントが無限遠に設定されます。
- ② シャッターボタンを全押しして撮影する。
 - カメラが自動で適切な設定を行い、撮影を開始します。
 - シャッターボタンを押してから撮影開始までにタイムラグがあります。
 - 一定時間毎に合成された画像が表示されます。
- ③ シャッターボタンをもう一度押して撮影を終了する。
 - 1回で撮影できる時間は、最長**3時間**です。

[パノラマ]で撮影するには


- ① シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。
- ② 2コマ目を撮る方向にカメラをゆっくりと動かす。
 - ターゲットマークが表示されます。

- ③ ポインタをターゲットマークに合わせるようにカメラをゆっくりと動かす。
ポインタがターゲットマークと重なると自動的にシャッターが切れます。

ターゲットマーク
ポインタ







左から右へ画像を
つなぐ場合


- 2コマだけ合成するときには、ボタンを押す。
- ④ 手順3と同様に3コマ目の画像を撮影する。自動的に合成されます。
 - 撮影を中止する場合は、**MENU**ボタンを押します。

(ムービーモード)


通常のムービー以外に、高精細の4Kムービーや高速撮影してスローモーションで再生するハイスピードムービーを撮影できます。



サブモード	内容
 スタANDARD	通常のムービーを撮影します。
 4K	細部まで高精細に描写できる4Kムービーを撮影します。
 ハイスピード	動きの速い被写体を撮影し、スローモーションで再生します。

- 1 モードダイヤルをに設定する。

- 2 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルでサブモードを選択し、ボタンを押して決定する。



- 3  (ムービー)ボタンを押して撮影をはじめる。





- 撮影を終了する場合は、もう一度 (ムービー)ボタンを押します。
- モードダイヤルがのときに十字ボタン(左)を押すと、サブモード選択画面が表示されます。

画質モード

ライブコントロールで画質モードを設定することができます。📷「画質モード(ムービー)」(P. 41)

🐟 (水中モード)

被写体や撮影シーンに合わせてサブモードを選ぶだけで、適切な設定で水中撮影ができます。

サブモード	内容
 水中スナップ	自然光を用いた水中での撮影に最適です。
 水中ワイド	水中の景観を撮影するのに最適です。
 水中マクロ	水中での近距離撮影に最適です。
 水中HDR	水中で明暗の差が大きいときに適しています。 連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。 動きの速い被写体ではうまくいかない場合があります。

1 モードダイヤルを🐟に設定する。

2 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルでサブモードを選択し、**(OK)** ボタンを押して決定する。







3 シャッターボタンを全押しして撮影する。


- ピント位置を固定して撮影する場合は、AFL (P. 34)またはMF (P. 39)をお使いください。
- モードダイヤルが🐟のときに十字ボタン(左)を押すと、サブモード選択画面が表示されます。

△ (顕微鏡モード)

被写体に1cmまで接近して撮影できます。また深度の深い画像の記録や、撮影枚数などを設定したフォーカスブラケット撮影もできます。

サブモード	用途
 顕微鏡	被写体に1cmまで接近して撮影できます。
 深度合成*1	カメラが自動的にピント位置をずらした複数枚の画像を撮影し、それを合成した深度の深い画像を記録できます。最初の1コマ目と合成画像の2枚が記録されます。
 フォーカス BKT	カメラが自動的にピント位置をずらした複数枚の画像を撮影できます。撮影枚数と撮影ステップは、[Focus BKT] (P. 57) で設定します。
 顕微鏡 コントロール	被写体を拡大表示して近接撮影するのに最適です。撮影距離が1cmの時の表示倍率をモニターに表示します。十字ボタン(右)を押して、倍率の変更ができます。高倍率では、画像が粗くなります。

*1 手ぶれや被写体ぶれにより合成できない場合があります。

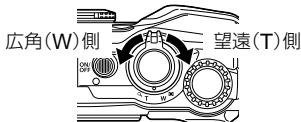
- 1 モードダイヤルを△に設定する。
- 2 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルでサブモードを選択し、 ボタンを押して決定する。
- 3 シャッターボタンを全押しして撮影する。



- ピント位置を固定して撮影する場合は、AFL (P. 34) または MF (P. 39) をお使いください。
- モードダイヤルが△のときに十字ボタン(左)を押すと、サブモード選択画面が表示されます。

ズームを使う

遠くのを拡大(望遠)して撮影したり、広い範囲(広角)を撮影することができます。ズームレバーを回すと、撮影する範囲を調整できます。





撮影機能を使う(ダイレクトボタン操作で設定)







撮影によく使う機能が十字ボタン(右上下)に割り当てられています。ボタンを押すだけで、割り当てられた機能をダイレクトに選択できます。

撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。📷「撮影モード設定可能一覧」(P. 115)

フラッシュ撮影

フラッシュを発光させて被写体に光を当てて撮影できます。

- 1  ボタンを押して、選択項目を表示する。
- 2 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルでフラッシュ発光モードを選択し、 ボタンを押して決定する。

 AUTO オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
 発光	フラッシュを必ず発光させます。
 赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。
 発光禁止	フラッシュは発光しません。
 スローシンクロ+赤目軽減	スローシンクロと赤目軽減を併用します。
 SLOW スローシンクロ	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
 マニュアル発光	マニュアルでフラッシュ撮影するときを選択します。[マニュアル発光]を選んで  ボタンを押す前に INFO ボタンを押すと、十字ボタン(上下左右)またはコントロールダイヤルで発光量を選べます。
 RC リモートコントロール	専用水中フラッシュやオリンパスワイヤレスRCフラッシュを使って撮影します。詳細は「オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムを使って撮る」(P. 109)をご参照ください。
 LED発光	撮影時にLEDが点灯します。近距離撮影に効果的です。

- [1/60]では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- 撮影状況によっては、[1/60]の効果が得られないことがあります。
- [1/2 SLOW]では、シャッター速度が遅くなります。カメラを三脚で固定してください。
- 撮影モードや撮影設定によっては選択できない項目があります。

露出補正

画像全体を明るくまたは暗く調整して撮影できます。

1 コントロールダイヤルを回すか、ボタンを押してから十字ボタン(左右)を押す。

- 撮影モードや撮影設定によっては、コントロールダイヤルで露出を変更できない場合があります。
- +に補正すると画像が全体的に明るく、-に補正すると全体的に暗くなります。







単写／連写

シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影ができます。

1 ボタンを押して、設定可能状態にする。



2 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで項目を選択し、ボタンを押す。

 単写	一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます(通常の撮影モード、1コマ撮影)。
 連写H	シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [連写H]を選んで\odotボタンを押す前にINFOボタンを押すと、連写速度を変更できます。連写速度は約10コマ/秒(10fps)、約20コマ/秒(20fps)から選択できます。十字ボタン(上下左右)またはコントロールダイヤルで項目を選択し、\odotボタンを押して連写速度を決定します。
 連写L	シャッターボタンを全押ししている間、約5コマ/秒の速度で連続撮影できます。
 プロ キャプチャー	シャッターボタン半押しで連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の撮影画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。

- 連写中およびプロキャプチャー撮影中は、ピント・露出・ホワイトバランスが撮影開始時の設定で固定されます。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。

プロキャプチャー

シャッターボタンを全押ししてから撮影画像記録開始までのタイムラグを防ぐため、シャッターボタン半押しで電子シャッターを使った連続撮影を開始し、全押しで半押し時の撮影画像(最大で4コマ)を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。

- ①  ボタンを押します。
- ② 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで[>] (プロキャプチャー)を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ シャッターボタンを半押しして撮影を始めます。
- ④ シャッターボタンを全押ししてカードへの記録を開始します。
 - Wi-Fi接続時にプロキャプチャー撮影はできません。
 - 半押し状態での連続撮影時間は最長1分です。撮影を続ける場合は、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
 - 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
 - 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
 - シャッター速度の低速側には制限があります。

セルフタイマー

シャッターボタンを押した後、設定した時間後に撮影できます。

1 ボタンを押して、設定可能状態にする。

2 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで[12]、[2]または[C]を選択し、 ボタンを押す。

12	セルフタイマー 12s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、撮影されます。
2	セルフタイマー 2s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。
C	カスタムセルフ タイマー	選択状態からさらに INFO ボタンを押して設定した「撮影開始までの時間、撮影枚数、撮影間隔」で撮影します。

- セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、**MENU**ボタンを押します。
- セルフタイマーの設定は、撮影が終わっても自動的に解除されません。

AFL (フォーカスロック)

ピントを合わせた位置でピントを固定することができます。

1 シャッターボタンを半押しし、被写体にピントを合わせる。

2 シャッターボタンを半押ししたまま ボタンを押す。

そのままピントがロックされます。

AFロックマーク



- ロックしたピントは十字ボタン(上下)またはコントロールダイヤルで前後に微調整できます。
- ボタン、ズーム操作、**MENU**操作などを行うとロックは解除されます。
- SCN**モードの[ライブコンポジット] (P. 27)の場合、シャッターボタンを半押しして合焦マークが点滅しているときに ボタンを押すと、ピントを無限遠に設定できます。
- AUTO**モード、一部の**SCN**モードでは使用できません。

ターゲット選択

ピント合わせに使うAFターゲットマークの位置を変更できます。

あらかじめ撮影メニュー 1の[AFターゲット選択] (P. 55)を[[I・J](シングルターゲット)]に設定しておきます。

1 **Ⓚ ボタンを長押しする。**

2 十字ボタン(上下左右)でAFターゲットマークの位置を選択し、**Ⓚ ボタンを押す。**

- 選択中に**Ⓚ** ボタンを長押しすると、AFターゲットマークが中央に戻ります。

自動追尾

動いている被写体に自動でピントを合わせ続けることができます。

あらかじめ撮影メニュー 1の[AFターゲット選択] (P. 55)を[自動追尾]に設定しておきます。

1 AFターゲットマークを被写体に合わせて、シャッターボタンを半押ししたまま**Ⓚ** ボタンを押す。

2 被写体を認識すると、被写体の動きに合わせてAFターゲットマークが動き、自動でピントを合わせ続ける。

- 中止するときは、**Ⓚ** ボタンを押します。
- 被写体や撮影状況によっては、ピントを固定できなかったり、被写体を追尾できなくなることがあります。
- 被写体を追尾できなくなったときは、AFターゲットマークが赤く点灯します。

撮影機能を使う (ライブコントロールで設定する)

撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。📷「撮影モード設定可能一覧」(P. 115)

設定できる機能

ピクチャーモード	P. 37	手ぶれ補正(静止画) *2	P. 42
シーンモード	P. 25	手ぶれ補正(ムービー) *1	P. 42
ISO感度	P. 38	フラッシュ *2*3	P. 43
ホワイトバランス	P. 38	フラッシュ補正 *2	P. 43
AF方式	P. 39	ドライブ/セルフ	P. 44
アスペクト	P. 39	測光 *2	P. 44
画質モード(静止画)	P. 40	顔優先	P. 44
画質モード(ムービー) *1	P. 41	アクセサリ	P. 45

- 設定した内容はPとAで共有されます。

*1 ムービーモードの場合のみ表示されます。

*2 ムービーモードの場合は表示されません。

*3 PまたはA、🐟(水中モード)、🔍(顕微鏡モード)間で撮影モードを切り換える場合、それぞれのモードで設定した内容は保持され、電源を切ってもリセットされません。ただし、[📷 水中HDR]のISO感度設定は保持されません。

ライブコントロールの使い方

1 Ⓞ ボタンを押してライブコントロールを表示する。



















- 再度Ⓞボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。

2 十字ボタン(上下)で設定したい機能に移動し、十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで選択肢を選択してⓄボタンを押す。



- 何も操作せずに約8秒間経過すると、設定が確定します。

- は、初期設定を表します。

ピクチャーモード		画像の仕上がり効果の設定
	i-Finish	撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
	Vivid	色鮮やかに仕上げます。
	Natural	自然な色合いに仕上げます。
	Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
	Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
	モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
	カスタム	仕上がり項目の1つを選んで各パラメータを設定し、登録します。
	eポートレート	肌をなめらかに整えます。ムービー撮影やブラケット撮影では使えません。
	ポップアート	色の美しさを強調した画像になります。
	ファンタジックフォーカス	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な画像になります。
	デイドリーム	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、優しい光に包まれた浮遊感を表現した画像になります。
	ライトトーン	シャドウ部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた画像になります。
	ラフモノクローム	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した画像になります。
	トイフォト	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような画像になります。
	ジオラマ	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外ををぼかし、ミニチュアのような雰囲気画像になります。
	クロスプロセス	不安定で非現実的な雰囲気を表現した画像になります。
	ジェントルセピア	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な画像になります。
	ドラマチックトーン	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した画像になります。





ピクチャーモード		画像の仕上がり効果の設定
ART 11 / ART*1 11	リーニュクレール	エッジラインを強調し、イラストテイストを付加した画像になります。
ART 12 / ART*1 12	ウォーターカラー	暗部を大胆に削除し、白いキャンパスに淡く明るい色彩をなじませ、さらに柔らかな輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気の写真になります。
ART 13 / ART 13 / ART*1 13	ヴィンテージ	フィルムプリントの変色や退色など、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
ART 14 / ART 14 / ART*1 14	パートカラー	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。 INFO ボタンを押してから、コントロールダイヤルを回して色を設定します。

- ピクチャーモードを[ART]に設定すると[カラー設定] (P. 69)は、[sRGB]に固定されます。



*1 II、IIIは、オリジナル(I)に対して変化をつけたものです。

ISO感度		光に対する感度の設定
ISO AUTO	ISOオート	画質を優先し、カメラが自動的に設定します。
ISO 100 ~ ISO 12800	数値	数値が小さいほど画像のノイズが少なく、大きいほどぶれが軽減されます。

ホワイトバランス		撮影シーンの光源に応じた色合いの設定
WB AUTO	WBオート	カメラが自動的に調整します。
	晴天	晴れた屋外での撮影に適しています。
	日陰	晴れた屋外の日陰での撮影に適しています。
	曇天	曇った屋外での撮影に適しています。
	電球	電球の灯りでの撮影に適しています。
	蛍光灯	蛍光灯の灯りでの撮影に適しています。
	水中	水中での撮影に適しています。
WB	WBフラッシュ	フラッシュ撮影に適しています。






ホワイトバランス		撮影シーンの光源に応じた色合いの設定
	ワンタッチ1	撮影した画像が望んだ色味にならない場合や、光源の特性がわからないとき、光源が複数あって特定できないときなどに適しています。 撮影時の光源にマニュアルで合わせます。白い紙等を画面いっぱいに写るように置き、 INFO ボタンを押して設定します。ワンタッチホワイトバランスの登録方法はP. 39を参照ください。
	ワンタッチ2	
	ワンタッチ3	
	ワンタッチ4	
CWB 2000 ~ CWB 14000 カスタム		INFO ボタンを押した後、十字ボタン(上下)で色温度を選択し、 OK ボタンを押します。2000 ~ 14000Kの範囲で調整できます。

ワンタッチホワイトバランスの登録

[ワンタッチ1] ~ [ワンタッチ4]のいずれかを選び、カメラを白い紙などに向け**INFO**ボタンを押してからシャッターボタンを押します。

- シャッターが切れて、登録の確認画面が表示されます。[実行]を選択するとホワイトバランスが登録されます。登録済みの場合は登録内容が更新されます。
- 登録されたホワイトバランスは電源を切っても消去されません。
- 実際に撮影する光源下で操作を行ってください。
- カメラの設定を変えた場合は再登録が必要です。

AF方式		ピントの合わせ方の設定
AF	AF	シャッターボタンを半押しするとカメラが自動でピントを合わせます。撮影メニューでピントを合わせる範囲を選べます。 <ul style="list-style-type: none"> ムービー撮影中は、カメラが常に自動でピントを合わせます。
MF	MF	十字ボタン(上下)またはコントロールダイヤルで被写体の任意の位置に手でピントを合わせることができます。撮影待機時に OK ボタンを長押しすると、 MF 操作が可能になります。

アスペクト		画像の縦横比の設定
	4:3	静止画撮影時の画像の縦横比を設定します。
	16:9	
	3:2	
	1:1	
	3:4	

画質モード(静止画) *1		静止画の記録画質の設定
RAW	RAW	<p>静止画の画質モードを設定します。選択可能な画質モードはJPEGとRAW*2*3です。JPEG+RAWの場合、JPEGとRAWの2種類の画像を同時に記録します。*4</p> <p>JPEGは画像サイズ(L/M/S)と圧縮率(SF/F/N/B)の組み合わせからできています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定した画質モードによって撮影可能枚数(P. 106)が変わります。
F	[L] F	
N	[L] N	
N	[M] N	
N	[S] N	
F+RAW	[L] F+RAW	
N+RAW	[L] N+RAW	
N+RAW	[M] N+RAW	
N+RAW	[S] N+RAW	

*1 ここでは初期設定の内容を記載しています。 F [L] F/ N [L] N/ N [M] N/ N [S] N以外の組み合わせを設定したいときは、カスタムメニュー E の [画質設定] (P. 68) の設定を変更してください。

*2 RAW: カメラの設定を反映していない未加工のデータ(拡張子「.ORF」)です。OLYMPUS Viewer 3(P. 93)を使って露出補正やホワイトバランスの設定を変えたりアートフィルターをかけたりできます。OLYMPUS Viewer 3は最新のバージョンをお使いください。一般のソフトウェアで再生・表示・編集、プリント予約はできません。

*3 水中HDR] [深度合成] [フォーカスBKT] [顕微鏡コントロール] [eポートレート] [ライブコンポジット] [手持ち夜景] [HDR逆光補正] では設定できません。

*4 JPEG+RAWで撮影した画像のJPEGだけ、またはRAWだけを消去することはできません。消去すると両ファイルともに消去されます(パソコンでJPEGを消去してRAWだけをカメラに戻した場合、RAW編集(P. 14)はできませんがプリント予約(P. 88)はできません)。

画質モード(ムービー)		ムービーの記録画質の設定
📺のサブモードが[通常]の場合		<p>ムービーの画質モードは、次の組み合わせで設定されています。ビットレートとフレームレートは動画メニューで設定を変更できます。📺 (P. 58)</p> <div><div>①</div><div>②</div><div>FHD F</div><div>📺 30p</div><div>③</div></div> <p>① 画像サイズ FHD : 1920×1080 HD : 1280×720 4K : 3840×2160</p> <p>② ビットレート(圧縮率) SF / S / F / N</p> <p>③ フレームレート 30p (60p) / 25p (50p)</p>
FHD 60p	1920×1080 Super Fine 60p	
FHD 50p	1920×1080 Super Fine 50p	
FHD 30p	1920×1080 Super Fine 30p	
FHD 25p	1920×1080 Super Fine 25p	
HD 30p	1280×720 Super Fine 30p	
HD 25p	1280×720 Super Fine 25p	
FHD F 60p	1920×1080 Fine 60p	
FHD F 50p	1920×1080 Fine 50p	
FHD F 30p	1920×1080 Fine 30p	
FHD F 25p	1920×1080 Fine 25p	
HD F 30p	1280×720 Fine 30p	
HD F 25p	1280×720 Fine 25p	
FHD N 60p	1920×1080 Normal 60p	
FHD N 50p	1920×1080 Normal 50p	
FHD N 30p	1920×1080 Normal 30p	
FHD N 25p	1920×1080 Normal 25p	
HD N 30p	1280×720 Normal 30p	
HD N 25p	1280×720 Normal 25p	
📺のサブモードが[4K]の場合*1		
4K 30p	3840×2160 30p	
4K 25p	3840×2160 25p	

*1 ビットレートを変更できません。










画質モード(ムービー)		ムービーの記録画質の設定
⌘のサブモードが[HS]の場合*2		<div style="text-align: center;"> <p>①</p> <p>FHD HS 120fps</p> </div> <p>① 画像サイズ</p> <p>FHD : 1920×1080 HD : 1280×720 SD : 640×360</p>
FHD HS 120fps	1920×1080 HighSpeed 120fps	
HD HS 240fps	1280×720 HighSpeed 240fps	
SD HS 480fps	640×360 HighSpeed 480fps	






*2 フレームレートとビットレートを変更できません。








手ぶれ補正(静止画)		静止画撮影時の手ぶれ補正の設定
OFF	OFF	静止画撮影時の手ぶれ補正のON/OFFを設定します。
ON	ON	



手ぶれ補正(ムービー)		動画撮影時の手ぶれ補正の設定
OFF	OFF	ムービー撮影時の手ぶれ補正のON/OFFを設定します。
ON	ON*1	

*1 ⌘のサブモードが[HS]の場合は初期設定が[OFF]になります。




フラッシュ		フラッシュの発光の仕方の設定
 AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
	発光	フラッシュが必ず発光します。
	赤目軽減発光	予備発光を行い、目が赤く写るのを軽減します。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
	スローシンクロ +赤目軽減	スローシンクロと赤目軽減を併用します。
	スロー シンクロ	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
	マニュアル 発光	マニュアルでフラッシュ撮影するときに選択します。 [マニュアル発光]を選んで \odot ボタンを押す前に INFO ボタンを押すと、十字ボタン(上下左右)またはコントロールダイヤルで発光量を選べます。
	リモート コントロール	専用水中フラッシュやオリンパスワイヤレスRCフラッシュを使って撮影します。詳細は「オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムを使って撮る」(P. 109)をご参照ください。
	LED発光	撮影時にLEDが点灯します。近距離撮影に効果的です。

フラッシュ補正	カメラが調節したフラッシュの明るさ(光量)の補正
 -2.0 ~  +2.0 数値	<p>フラッシュの光量を調整します。-の数値が大きいほど暗く、+の数値が大きいほど明るく補正します。</p> <ul style="list-style-type: none">  モード、 モードの[ 水中HDR]、SCNモードでは無効です。

ドライブ／セルフ		連続撮影と、シャッターボタンを押してから撮影までの時間の設定
	単写	シャッターボタンを押すごとに1コマ撮影します。
	連写H	シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影できます。 <ul style="list-style-type: none"> 「連写H」を選んで\odotボタンを押す前にINFOボタンを押すと、連写速度を変更できます。連写速度は約10コマ／秒(10fps)、約20コマ／秒(20fps)から選択できます。十字ボタン(上下左右)またはコントロールダイヤルで項目を選択し、\odotボタンを押して連写速度を決定します。
	連写L	シャッターボタンを全押ししている間、約5コマ／秒の速度で連続撮影できます。
	セルフタイマー 12s	セルフタイマーランプが約10秒点灯し、さらに約2秒点滅した後、シャッターが切れます。
	セルフタイマー 2s	セルフタイマーランプが約2秒点滅した後、シャッターが切れます。
	カスタムセルフタイマー	設定した「撮影開始までの時間、撮影枚数、撮影間隔」で撮影します。
	プロキャプチャー	シャッターボタン半押しで連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の撮影画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。P.33「プロキャプチャー」(P. 33)

測光		明るさを測る範囲の設定
	スポット	逆光のとき中央の被写体を撮影する(画面の中央部分を測光します)。
	ESP	画面全体で明るさのバランスのとれた撮影をする(画面の中央と周辺を個別に測光します)。強い逆光下での撮影では、中央が暗く写ることがあります。

顔優先		ピント合わせや測光の設定
ON	ON	[ON]にすると、カメラが自動的に人物の顔を検出して、ピント合わせや測光の調整を行います。
OFF	OFF	

アクセサリー		別売のアクセサリを使うときの設定
OFF	OFF	カメラ本体だけで撮影します。
	PTWC-01	別売の専用コンバージョンレンズに合わせて設定します。
	FCON-T01	
	TCON-T01	
FD-1	FD-1	FD-1を装着してフラッシュ撮影するときに適した設定にします。

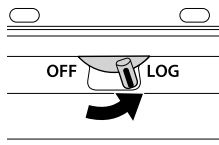
ログを記録する／使う(LOGモード)

このカメラは、LOGレバーを**LOG**にすると、GPSや各種センサー情報(P. 80)を取得してログに記録します。ログは、スマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)で読み込んで利用できます。

ログを記録する／保存する

LOGレバーを**LOG**に合わせます。

- ログの記録を開始します。記録中は動作ランプが点滅します。



- 電池残量が少なくなると、自動的にログの取得および記録を終了します。LOGレバーを**OFF**にして、ログを保存してください。
- LOGモードにすると、常に測位を継続しているため電池を消耗します。
- ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになると、新たにログを記録することができなくなります。その場合はLOGレバーを**OFF**にして、ログをカードに保存してください。❗「ログ記録の問題」(P. 97)

ログの保存について

記録したログは、LOGレバーを**OFF**にしたときカードに保存されます。

- ログの保存中はモニターに保存動作中の画面が表示されます。表示が消えるまでカードを取り出さないでください。保存中にカードを取り出すと、ログファイルが消失したり、カメラやカードに不具合が生じるおそれがあります。
- カメラが無線通信中の場合やカードの容量が不足していたり書き込み禁止になっている場合など、LOGレバーを**OFF**にしてもログの保存が開始されないことがあります。その場合は、カメラの無線通信を終了したり、カード内の不要なデータを削除するなど、ログの保存が可能な状態にしてください。保存が完了するまではカメラの電池を抜かないでください。
 - カメラにカードが入っていないとログを保存しません。
- カードに保存できるログファイル数の上限は199個までです。保存できるファイル数が残り少なくなると、モニターにエラーメッセージが表示されます(P. 95)。その場合はカードを交換するか、ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。

- ログファイルは、カード内の「GPSLOG」フォルダと「SNSLOG」フォルダ内に保存されます (P. 105)。

記録／保存したログを使う

カメラに一時記録したログ、またはカードに保存したログを使用するには、スマートフォンで専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)を起動し、本機の無線LAN機能を使ってスマートフォンと接続してください (P. 75)。

専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)を使ってできること

- 一時記録中のログと画像の確認
カメラで一時記録中のログと画像をスマートフォンで確認することができます。
- 一時記録したログと画像のスマートフォンへの転送、閲覧
カメラで一時記録したログと画像をスマートフォンに転送して、閲覧することができます。
- 移動の軌跡の閲覧
カードに保存したログを読み込んで、移動の軌跡をスマートフォンで閲覧することができます。
- ログの一時記録中に撮影した画像と記録したログの関連付け
ログの一時記録中に撮影した画像と、記録したログを関連付けて閲覧、管理することができます。
- OI.Trackを使って、GPSアシストデータを更新することもできます (P. 81)。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

便利な機能を使う

測位情報画面を表示する

カメラの電源が切れているときに**INFO**ボタンを押すと、モニターに測位情報を表示します。

- 表示される情報は、気象条件などにより誤差を生じることがあります。目安としてお使いください。

画面表示

画面表示	
	No.
	名称
	1 時刻
	2 ログ記録中
	3 方位
	4 温度(水温)
	5 気圧
	6 標高(水深)
	7 GPSアイコン
	8 緯度
	9 経度

緯度／経度について

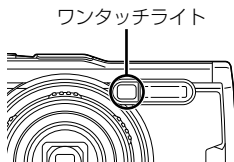
GPSアイコンが点滅しているときや表示されていないときは、測位ができていません。

GPS機能およびその他の情報表示について

- 厳密な精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値(緯度経度、方角、水深、温度など)に対しての保証はいたしません。また、自然災害などの影響により、情報内容が実際と異なる場合があります。

ワンタッチライトを使う

ワンタッチライトが点灯するまで**INFO**ボタンを押します。カメラの電源が切れている場合も点灯します。



電源ON時の点灯時間

点灯した状態でボタン操作を続けると、最長で約**90秒**間点灯します(ボタン操作をしていない状態では最長**30秒**)。

電源OFF時の点灯時間

ボタン操作の有無にかかわらず、最長で約**30秒**間点灯します。

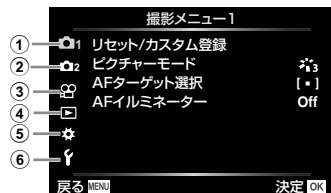
- 以下の場合、ワンタッチライトが自動的に消灯します。
 - **ON/OFF** ボタンを操作したとき
 - **LOG** レバーを操作したとき
 - メニュー画面を表示したとき
 - **USB** ケーブルを抜き差ししたとき
 - **Wi-Fi** 接続したとき
- ワンタッチライトが点灯している場合でも、**INFO** ボタンを押して測位情報画面(P. 48)を表示できます。

ワンタッチライトを消すには

ワンタッチライトが消灯するまで**INFO**ボタンを押します。

メニューを使う

メニュー一覧



① 撮影メニュー 1 (P. 54)

リセット/カスタム登録
ピクチャーモード
AFターゲット選択
AFイルミネーター

② 撮影メニュー 2 (P. 56)

インターバル撮影設定
Focus BKT

③ 動画メニュー (P. 58)

ムービー録音
録音レベル調整
動画フレームレート
動画ビットレート

④ 再生メニュー (P. 59)

スライドショー
回転再生
編集

プリント予約 (P. 88)
全プロテクト解除
スマートフォン接続

⑤ カスタムメニュー (P. 64)

A. MF

MFアシスト

B1. 表示/音/接続





Info表示設定
LVブースト
フリッカー低減
表示罫線選択
ピーキング色

B2. 表示/音/接続

電子音
HDMI

C. 露出/ISO

露出基準調整
ISOオート設定

⑤  カスタムメニュー (P. 64)	
	高感度ノイズ低減
	長秒時ノイズ低減
D. フラッシュ	
	 +  連動
	 +WB連動
E. 画質/WB/色	
	画質設定
	WBモード
	WBオート 電球色残し
	カラー設定
F. 記録	
	ファイルネーム
	ファイルネーム編集
	著作権情報
G. フィールドセンサー	
	標高/水深設定
	GPS位置情報記録
	GPS動作モード
H. その他	
	ピクセルマッピング
	水準器調整
	スリープ時間
	Eye-Fi設定
	認証マーク表示

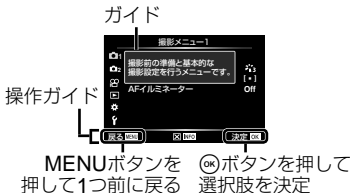
⑥  セットアップメニュー (P. 72)	
カードセットアップ	モニター調整
日時設定	撮影確認
	Wi-Fi設定

メニューの使い方

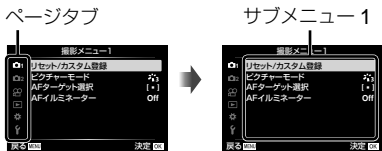
撮影時または再生時に**MENU**ボタンを押すと、メニューが表示されます。メニューでは、撮影／再生時の機能や、日時や画面表示設定などカメラの様々な機能を設定します。撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。📷「撮影モード設定可能一覧」(P. 115)

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。

- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。
- INFO**ボタンを押すと、ガイドの表示／非表示を切り換えることができます。



2 十字ボタン(上下)で目的のページタブを選び、十字ボタン(右)を押す。



- カスタムメニューを選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。十字ボタン(上下)でメニューグループを選択して**OK**ボタンを押します。

メニューグループ

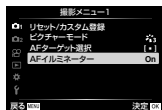


- 3** 十字ボタン(上下)で目的のサブメニュー 1を選び、**(OK)** ボタンを押す。



- 4** 十字ボタン(上下)で目的のサブメニュー 2を選び、**(OK)** ボタンを押す。

- 設定が確定してサブメニュー 1に戻ります。
- メニューによっては、さらに個別の操作が必要な場合があります。



- 5** **MENU**ボタンを押して設定を終える。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

-  は、初期設定を表します。


撮影メニュー 1





撮影機能を初期設定に戻す・お気に入りの設定を登録する

[リセット／カスタム登録]


撮影機能を初期設定に戻すには

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。





 「メニューのリセット/カスタム一覧」(P. 120)

- ① 撮影メニュー 1で[リセット/カスタム登録]を選択して、 ボタンを押す。
- ② [リセット]を選択し、 ボタンまたは十字ボタン(右)を押す。
- ③ リセットの種類を選ぶ。
 - 日付や言語など一部を除いたすべての設定値をリセットする場合は、[フル]を選び ボタンを押します。
- ④ [実行]を選択し、 ボタンを押す。

お気に入りの設定を登録するには

現在のカメラの設定を、2つのカスタムモードに登録できます。モードダイヤルC1、C2で登録された設定を呼び出すことができます。 「メニューのリセット/カスタム一覧」(P. 120)



サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
カスタムモード C1	登録	現在の設定を登録する。
	クリア	初期設定に戻る。
カスタムモード C2	登録	カスタムモード C1と同様。
	クリア	

- ① 登録したい状態にカメラを設定する。
 - モードダイヤルは (ムービーモード)以外に設定してください。
- ② 撮影メニュー 1で[リセット/カスタム登録]を選択して、 ボタンを押す。
- ③ [カスタムモード C1]または[カスタムモード C2]を選択して、 ボタンを押す。
- ④ [登録]を選択し、 ボタンを押す。
 - 登録内容が上書きされます。
 - 登録を解除する場合は[クリア]を選択します。





操作方法は(P. 52)をご参照ください。

画像の仕上がりを設定する [ピクチャーモード]

[ピクチャーモード] (P. 37)の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

- ① 撮影メニュー 1で[ピクチャーモード]を選択して、ボタンを押す。
 - 撮影モードの設定に応じて選択できるピクチャーモードが表示されます。
- ② 十字ボタン(上下)で項目を選択してボタンを押す。
 - 各項目でさらに十字ボタン(右)を押すと、選択したピクチャーモードに応じて詳細設定ができます。詳細設定ができないピクチャーモードもあります。
 - [標準]以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。

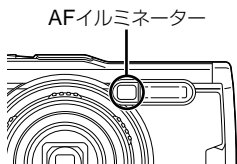
ピントを合わせる範囲を選ぶ [AFターゲット選択]

サブメニュー 2	用途
 (オール ターゲット)	すべてのAFターゲットからカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選ぶ。
 (シングル ターゲット)	1つのAFターゲットを選ぶ。  「ターゲット選択」(P. 35)
自動追尾	動いている被写体に自動でピントを合わせ続ける。  「自動追尾」(P. 35)

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

被写体が暗いときに補助光を使う [AFイルミネーター]

サブメニュー 2	用途
Off	AFイルミネーターを使わない。
On	シャッターボタンを半押しして点灯するAFイルミネーターを使ってピントを合わせる。



2 撮影メニュー 2

インターバル撮影を設定する 2 [インターバル撮影設定]

サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	用途
Off	—	—	インターバル撮影しない。
On	コマ数	1 ~ 299 (コマ)	撮影するコマ数を設定する。
	撮影開始待ち時間	00:00:01 ~ 24:00:00	撮影開始までの待ち時間を設定する。
	撮影間隔	00:00:01 ~ 24:00:00	撮影開始後の撮影の間隔を設定する。
	タイムラプス動画	Off	それぞれのコマを静止画として記録する。
		On	静止画で記録すると同時に、一連のコマでひとつのムービーを生成して記録する。
	タイムラプス動画設定	ムービーサイズ	タイムラプスムービーのサイズを設定する。
		フレームレート	タイムラプスムービーのフレームレートを設定する。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

インターバル撮影をするには

あらかじめ撮影メニュー 2 [インターバル撮影設定]で[On]を選択し、撮影条件を設定して静止画撮影します。

- ・ 画像処理に時間がかかる等、設定より間隔が長くなる場合があります。
- ・ インターバル撮影が長時間になる場合は、USB-ACアダプタをお使いください。
- ・ カードの残容量が不足している場合は、インターバル撮影が開始されません。
- ・ インターバル撮影中にカメラの電源が切れる場合がありますが、撮影は設定通りに行われます。

インターバル撮影を中断/終了するには

MENUボタンを押すとインターバル撮影を中断します。終了する場合は撮影メニュー 2 [インターバル撮影設定]で[Off]を選択します。


フォーカスブラケット撮影を設定する [Focus BKT]

サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	用途
Off	—	—	ブラケット撮影しない。
On	撮影枚数	10/20/30 (コマ)	ブラケット撮影の枚数を設定する。
	フォーカス ステップ	狭い／標準／ 広い	一コマごとにずらすピント位置の間隔を設定する。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

動画メニュー

ムービー撮影時に音声を録音する [ムービー録音]

サブメニュー 2	用途
Off	録音しない。
On	ムービー撮影時に録音する。
On 	ムービー撮影時に風切り音を低減しながら録音する。

- ピクチャーモードの[ジオラマ]、HSムービーの場合、録音はできません。

マイクの感度を調整する [録音レベル調整]

内蔵マイクの感度を設定します。マイクが拾っている音量の過去数秒間のピーク値を音量レベルバーで確認しながら、十字ボタン(上下)で感度を調整します。

ムービー撮影時のフレームレートを設定する [動画フレームレート]

サブメニュー 2	用途
30p/25p	ムービー撮影時のフレームレートを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none">• [30p]に設定すると30pと60p、[25p]に設定すると25pと50pの画質モード(P. 41)が選択できます。

ムービー撮影時の画質を設定する [動画ビットレート]

サブメニュー 2	用途
Super Fine/ Fine/Normal	ムービー撮影時の圧縮率を選ぶ。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

再生メニュー

画像を自動再生する [スライドショー]

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
スタート	—	スライドショーをはじめる。
BGM	Party Time/ Off	スライドショー中に流す音楽(BGM)を選ぶ。
スライド	すべて/静止画/ ムービー	再生する画像の種類を設定する。
1コマ再生時間	2秒/3秒/4秒/ 5秒/6秒/7秒/ 8秒/9秒/10秒	次の画像に切り換わる間隔を2～10秒の間で設定する。
ムービー再生	フル/ショート	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する[フル]か、途中までの部分を再生する[ショート]を設定する。

- スライドショー中に十字ボタン(右)を押すと1コマ送り、十字ボタン(左)を押すと1コマ戻ります。
- スライドショーを終了するには、**MENU**ボタンまたは \odot ボタンを押します。

BGMを変更する

[Party Time]を他のBGMに変えることができます。当社ホームページからダウンロードしたデータをカードに記録して、再生メニュー [スライドショー]の[BGM]から[Party Time]を選んで十字ボタン(右)を押します。ダウンロードについては下記のホームページをご覧ください。

<http://support.olympus-imaging.com/bgmdownload/>

画像を回転させる [回転再生]

サブメニュー 2	用途
Off	画像を回転して再生しない。
On	縦位置で撮影した画像を自動的に回転して再生する。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

画像を編集する [編集]

サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	用途
画像選択	RAW編集	現設定	現在のカメラの設定に応じた処理がされる。 <ul style="list-style-type: none"> あらかじめカメラの設定をしておきます。露出補正など、一部の設定は反映されません。
		ART BKT	選択したアートフィルターの設定で編集する。
		中止	画像編集を中止する。
	JPEG編集	階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくする。
		赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減する。
		トリミング	画像をトリミングする。コントロールダイヤルでトリミングサイズ、十字ボタン(上下左右)でトリミング位置を指定する。
		アスペクト	アスペクト比が4:3 (基準)の画像のアスペクト比を[3:2] / [16:9] / [1:1] / [3:4]に変更する。アスペクト比変更後、十字ボタン(上下左右)でトリミング位置を指定する。
		モノクロ作成	白黒に変換する。
		セピア作成	セピア色に変換する。
		鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにする。画面で確認しながら鮮やかさを調整する。
		リサイズ	画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換する。アスペクト比が4:3 (基準)以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換する。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	用途
画像選択	JPEG編集	eポートレート	なめらかな肌に補正する。
	ムービー編集	静止画切り出し	ムービーからコマを選択して、静止画として保存する。
		トリミング	ムービーをトリミングする。
	録音	中止	録音を中止する。
		録音スタート	静止画に音声を録音する(最長30秒)。
		消去	静止画に録音した音声を消去する。
画像合成*1	2コマ合成	実行	撮影したRAW画像を重ねて合成し、別の画像として保存する。
	3コマ合成		

*1 カードにRAW画像が保存されている場合のみ選択できます。

RAW編集 / JPEG編集

- ① 十字ボタン(上下)で[画像選択]を選び \odot ボタンを押す。
 - ② 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで編集する画像を選択し、 \odot ボタンを押す。
 - RAW画像の場合は[RAW編集]、JPEG画像の場合は[JPEG編集]が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したい方のメニューを選びます。
 - ③ [RAW編集]または[JPEG編集]を選択して \odot ボタンを押す。
 - ④ 設定を完了したら \odot ボタンを押す。
 - 画像に設定が反映されます。
 - ⑤ [実行]を選択して \odot ボタンを押す。
 - 編集された画像がカードに記録されます。
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
 - 次の場合はJPEG編集できません。
 - パソコンで編集した画像 / カードの空き容量が不足している場合 / 他のカメラで撮影した画像
 - [リサイズ]では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
 - [トリミング] / [アスペクト]は、アスペクト比が4:3 (基準)の画像のみ編集できます。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

録音

- ① 十字ボタン(上下)で[画像選択]を選び \odot ボタンを押す。
- ② 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで音声を録音する画像を選択し、 \odot ボタンを押す。
 - プロテクトされた画像には録音できません。
- ③ [録音]を選択して \odot ボタンを押す。
 - 録音を中止する場合は、[中止]を選択してください。
- ④ [録音スタート]を選択して \odot ボタンを押す。
 - 録音を開始します
- ⑤ \odot ボタンを押して、録音を終了する。
 - 音声を録音した画像には♪が表示されます。

静止画切り出し(ムービー編集)

- ① 十字ボタン(上下)で[画像選択]を選び \odot ボタンを押す。
- ② 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで編集するムービーを選択し、 \odot ボタンを押す。
- ③ [ムービー編集]を選択して \odot ボタンを押す。
- ④ 十字ボタン(上下)で[静止画切り出し]を選び \odot ボタンを押す。
- ⑤ 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで静止画として保存するコマを表示して \odot ボタンを押す。
 - 撮影時のアスペクト比が[16:9]で画質モードが4Kの本機で撮影したムービーを編集できます。

トリミング(ムービー編集)

- ① 十字ボタン(上下)で[画像選択]を選び \odot ボタンを押す。
- ② 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルで編集するムービーを選択し、 \odot ボタンを押す。
- ③ [ムービー編集]を選択して \odot ボタンを押す。
- ④ 十字ボタン(上下)で[トリミング]を選び \odot ボタンを押す。
- ⑤ [上書き保存]または[新規作成]を選択して、 \odot ボタンを押す。
 - 画像がプロテクトされている場合は、[上書き保存]は選択できません。
- ⑥ トリミングの開始位置を指定して \odot ボタンを押す。
 - コントロールダイヤルを回すと、先頭のコマまたは最後尾のコマを表示します。
- ⑦ 十字ボタン(左右)またはコントロールダイヤルでトリミングする範囲を指定する。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

- ⑧ [実行]を選択して \odot ボタンを押す。
- 先頭または最後尾から選択されたコマまでの範囲を削除します。
 - 本機で撮影したムービーを編集できます。

画像合成

- ① 十字ボタン(上下)で[画像合成]を選び \odot ボタンを押す。
- ② 合成するコマ数を選択して \odot ボタンを押す。
- ③ 十字ボタン(上下左右)で合成するRAW画像を選択する(P. 13)。
- 手順②で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。
- ④ 合成する各画像のゲインを選択する。
- 十字ボタン(左右)で画像を選択し、十字ボタン(上下)で数値を変更します。
 - ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。
- ⑤ \odot ボタンを押して確認画面を表示し、[実行]を選択して \odot ボタンを押す。
- 保存時の画質モードで保存されます。([RAW]の場合は[\blacksquare N+RAW]で保存されます。

画像に印刷指定を設定する \blacktriangleright [プリント予約]

カード内の画像に、プリントする枚数や日付印刷を設定できます。

\blacksquare 「プリント予約(DPOF)」(P. 88)

プロテクトされている画像を一度に解除する \blacktriangleright [全プロテクト解除]

サブメニュー2	用途
実行	再生中のカードに保存されているすべての画像のプロテクトを解除する。
中止	プロテクトを解除しない。

スマートフォンと無線接続する \blacktriangleright [スマートフォン接続]

カメラの無線LAN機能を使って、カメラとスマートフォンを無線接続します。


\blacksquare 「スマートフォンと接続する」(P. 74)

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

✳ カスタムメニュー

■ A. MF


マニュアルフォーカス時のピント合わせを補助する ✳ [MFアシスト]



サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
拡大	Off	拡大表示しない。
	On*1	画面の一部を拡大して表示する。 <ul style="list-style-type: none">画面中央部分を拡大表示します。フォーカスロック(P. 34)している場合は、ロックした部分を拡大表示します。
ピーキング	Off	強調表示しない。
	On*1	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示する。 <ul style="list-style-type: none">強調表示の色を選択することができます。  「ピーキング色」(P. 65)

- [拡大]と[ピーキング]をどちらも[On]に設定すると、被写体によっては輪郭がはっきり見えなくなる場合があります。

*1 [On]に設定すると、フォーカスロック時やマニュアルフォーカス時にピント位置を変更したとき、自動的に拡大表示したり、ピーキング表示することができます。

■ B1. 表示/音/接続

情報画面の表示を設定する ✳  [Info表示設定]

サブメニュー 2	用途
 Info	再生情報画面にヒストグラム表示やハイライト&シャドウ表示を追加したり、初期設定で表示されている画面を非表示にする。
LV-Info	撮影情報画面にヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示、水準器表示を追加したり、初期設定で表示されている画面を非表示にする。 <ul style="list-style-type: none">• [カスタム表示1]と[カスタム表示2]で個別に設定を保存できます。
 表示	インデックス表示/カレンダー表示の設定をする。 <ul style="list-style-type: none">• インデックス表示(4コマ/ 9コマ/ 25コマ/ 100コマ)とカレンダー表示をそれぞれ表示するかどうか設定できます。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

モニターで適正露出を確認しながら撮影できるようにする ★ [LVブースト]

サブメニュー 2	用途
Off	露出補正等の設定を反映した明るさで、画面に被写体を表示します。
On	露出補正等の設定を反映せず、適正露出に近い明るさで画面に被写体を表示します。

蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減する ★ [フリッカー低減]

サブメニュー 2	用途
オート/50Hz/ 60Hz	ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減する。
OFF	フリッカー低減しない。

- [オート]で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて[50Hz]
[60Hz]に設定します。

撮影画面に罫線を表示する ★ [表示罫線選択]

サブメニュー 2	用途
Off	撮影画面に罫線を表示しない。
方眼/黄金分割	撮影画面に罫線を表示する。

輪郭強調の色を変更する ★ [ピーキング色]

サブメニュー 2	用途
白/黒/赤/黄	輪郭強調の色を設定する。

■ B2. 表示/音/接続

電子音の音量を調整する ★ [電子音]

十字ボタン(上下)で電子音の音量を調整できます。「0」に設定すると、シャッターボタンを押してピントが合ったときや、シャッターが切れるときの音を鳴らさないようにできます。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。


テレビで画像を再生する ★ [HDMI]

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
出力サイズ	4K優先/ 1080p優先/ 720p優先/ 480p/576p	優先して出力する信号形式を設定する。TV側が異なる設定のときは自動的に変更される。
HDMI コントロール	Off	カメラで操作する。
	On	テレビのリモコンで操作する。[On]に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。

- 接続方法は「カメラの画像をテレビで見る」(P. 82)をご参照ください。

■ C. 露出/ISO

適正露出の基準値を調整する ★ [露出基準調整]

サブメニュー 2	用途
	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。

- 調整した方向の露出補正範囲が狭くなります。
- 調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正(P. 32)を行ってください。

ISO感度オートの上限值と基準値を設定する ★ [ISOオート設定]

ISO感度(P. 38)を[ISOオート]に設定したときの上限値と基準値を設定します。[上限値]で、ISO感度の上限を設定します。[基準値]で、通常使用するISO感度を設定します。設定の上限は12800です。

高感度撮影時に発生するノイズを低減する ★ [高感度ノイズ低減]

サブメニュー 2	用途
Off	ノイズ低減処理をしない。
弱/標準/強	高感度撮影時のノイズ低減レベルを設定する。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

長時間露光時に発生するノイズを低減する ☆ [長秒時ノイズ低減]

サブメニュー 2	用途
Off	ノイズ低減処理をしない。
On	常にノイズ低減処理をする。
オート	長秒時、カメラ内部温度上昇時にノイズ低減処理をする。

- ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。
- 連写設定時は自動的に[Off]になります。
- 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。

■ D. フラッシュ

フラッシュ補正値に露出補正値を加算する ☆ [⬇️+⬆️連動]

サブメニュー 2	用途
Off	露出補正値を加算しない。
On	フラッシュ補正値に露出補正値を加算する。

フラッシュ発光時の色合いを設定する ☆ [⚡+WB連動]

サブメニュー 2	用途
Off	フラッシュ発光時にホワイトバランスの設定を自動で変更しない。
WB AUTO/WB⚡	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択する。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

■ E. 画質/WB/色

JPEGの記録画質を設定する ★ [画質設定]

JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと4種類の圧縮率の組み合わせから選択します。

- ① 十字ボタン(左右)で[1] ~ [4]の画像サイズと圧縮率を選択し、十字ボタン(上下)で値を変更する。
- ② ボタンを押して確定する。



撮影シーンの光源に応じた色合いを設定する ★ [WBモード]

ホワイトバランス(P. 38)の設定をします。それぞれの設定を微調整しておくこともできます。

ホワイトバランスを微調整する

- ① 微調整したいホワイトバランスモードを選択し、十字ボタン(右)を押す。
- ② A方向(赤 - 青)またはG方向(緑 - 赤紫)を選択し、十字ボタン(上下)で値を変更する。
 - A方向(赤 - 青)で補正する場合は+方向で赤味がかかり、-方向で青味がかかった画像になります。
 - G方向(緑 - 赤紫)で補正する場合は+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかかった画像になります。

ホワイトバランスオートに電球色の色味を残す ★ [WBオート 電球色残し]

サブメニュー 2	用途
Off	ホワイトバランスがオートのとき、電球下の色かぶりを抑える。
On	ホワイトバランスがオートのとき、電球色の色味を残す。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

色の再現方式を設定する ★ [カラー設定]

サブメニュー 2	用途
sRGB	国際電気標準会議 (IEC) が定めたRGB色空間の規格。通常は[sRGB]に設定してください。
AdobeRGB	アドビシステムズ社が提唱した規格。正しく映像として出力するには、対応したソフトウェア、ディスプレイ、プリンターなどのハードウェアが必要です。

■ F. 記録

画像ファイル名の連番をリセットする ★ [ファイルネーム]

サブメニュー 2	用途
オート	カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。
リセット	新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル番号は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。

画像につくファイル名を変更する ★ [ファイルネーム編集]

以下の部分が編集できます。

sRGB : Pmdd0000.jpg ————— Pmdd

AdobeRGB : _mdd0000.jpg ————— mdd

撮影者／著作権者の名称を画像に付加する ★ [著作権情報]

サブメニュー 2	用途
著作権情報記録	[On]を選択すると撮影者／著作権者の名称をExif 情報に付加する。
撮影者入力	撮影者の名称を入力する。
著作権者入力	著作権者の名称を入力する。

- ・ [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

■ G. フィールドセンサー

現在位置の標高／水深を設定する ☆ [標高/水深設定]

- ① 十字ボタン(上下)で数値を選ぶ。
 - 単位を変更する場合は手順②に進みます。単位を変更しない場合は \odot ボタンを押して確定します。
- ② 十字ボタン(右)を押す。
- ③ 十字ボタン(上下)で単位を選び、 \odot ボタンを押して確定する。

撮影画像にGPS位置情報を記録する ☆ [GPS位置情報記録]

サブメニュー 2	用途
Off	撮影した画像にGPSの位置情報を記録しない。
On	撮影した画像にGPSの位置情報を記録する。

- [GPS位置情報記録]を[Off]に設定していると、LOGレバーを**LOG**にしても画像に位置情報が付与されません。

GPS機能の動作モードを設定する ☆ [GPS動作モード]

サブメニュー 2	用途
精度優先	GPS機能の精度を優先する。
省電力優先	カメラの電池の持続時間を優先する。

■ H. その他

画像処理機能を調整する ☆ [ピクセルマッピング]

- この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安として行ってください。
- 最適な効果を得るため、撮影・再生直後より約1分以上時間を置いて実行してください。処理中にカメラの電源を切ってしまったときは、必ずもう一度実行してください。

画像処理機能を調整するには

[スタート] (サブメニュー 2)表示中に \odot ボタンを押す。

- 画像処理機能のチェックと調整が始まります。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

水準器の角度のずれを調整する ☆ [水準器調整]

サブメニュー 2	用途
リセット	出荷時の調整値に戻す。
キャリブレーション	現在のカメラの状態位置を0点とする。

省電力モードに移行するまでの時間を設定する ☆ [スリープ時間]

サブメニュー 2	用途
Off	省電力モード(スリープモード)に移行しない。
1分/3分/5分	設定した時間カメラを操作しないと、省電力モード(スリープモード)に移行する。 • シャッターボタンの半押しで解除されます。

Eye-Fiカードを使う ☆ [Eye-Fi設定]

サブメニュー 2	用途
On	Eye-Fiカードを使用するときに通信を行う。
Off	Eye-Fiカードを使用するときに通信を行わない。

- Eye-Fiカードを装着しているときのみ、設定の変更ができます。
- Eye-Fiカードをご使用の際は、Eye-Fiカードの取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書に準拠してご使用ください。
- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。
- 飛行機の中など使用を禁止される場所では、Eye-Fiカードをカメラから取り出すか、[Eye-Fi送信]を[送信しない]にしてください。
- Eye-Fiカードのエンドレスモードには対応していません。

認証マークを確認する ☆ [認証マーク表示]

安全規格などの認証マークの一部が表示されます。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

ⅴ セットアップメニュー

全コマを消去する／データを完全に消去する ⅴ [カードセットアップ]

- 初期化の前には、大切なデータが記録されていないことを確認してください。
- 新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途に使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

サブメニュー 2	用途
全コマ消去	カードの画像データをすべて消去する。 <ul style="list-style-type: none">プロテクトした画像は消去されません。
カード初期化	プロテクトをかけた画像を含むカード内のすべてのデータを消去する。

日時・タイムゾーン・GPS自動補正を設定する ⅴ [日時設定]

[日時]

- ① 十字ボタン(上下)で[年]を選ぶ。
- ② 十字ボタン(右)で[年]を確定する。
- ③ 手順①、②と同様に、十字ボタン(上下左右)で[月]、[日]、[時刻] (時、分、秒)、[年／月／日] (日付の順序)を設定したら、**[OK]**ボタンを押します。
 - 時刻を設定すると、測位情報画面(P. 48)に表示されます。

[タイムゾーン]

十字ボタン(上下)で地域を選び、**[OK]**ボタンを押します。

- INFO**ボタンで[サマータイム]の設定ができます。
- 海外旅行などで時刻を変更するとき、訪問先の地域のタイムゾーンに変更すると、カメラが自動的に時差を計算して日時を変更します。

[GPS自動日時補正]

[On]にすると、GPSの標準時刻情報に従って日時を補正します。

操作方法は(P. 52)をご参照ください。

表示言語を切り換える ♪ [🗨️]

サブメニュー 2	用途
言語	モニターに表示されるメニューやエラーメッセージの言語を選ぶ。

モニターの明るさを調整する ♪ [モニター調整]

- ① モニターを見ながら十字ボタン(上下)で明るさを調整し、(OK)ボタンを押す。



撮影直後に画像を確認する ♪ [撮影確認]

サブメニュー 2	用途
Off	撮影後、モニターで被写体を追いながら次の撮影に備える(撮影した画像を記録中に表示しない)。
0.3秒/0.5秒/ 1 ~ 20秒	撮影後、撮影した画像を選択した時間表示する(撮影した画像を記録中に表示する)。
Auto [▶]	撮影した画像を記録中に表示し、そのまま再生モードに切り換わる。

Wi-Fiを設定する ♪ [Wi-Fi設定]

サブメニュー 2	用途
Wi-Fi接続設定	接続モードを設定する。 📶 「スマートフォンと接続する」(P. 74)
プライベートパスワード	パスワードの再生成を行う。
全シェア予約解除	シェア予約された画像をすべて予約解除する。
Wi-Fi設定リセット	Wi-Fiに関する設定を工場出荷状態に戻す。

- 操作方法は「接続の方法を変更する」(P. 78)をご参照ください。

スマートフォンと接続する

本機の無線LAN機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリ(OI.Track、OI.Share)を使用することで、撮影や撮影後の楽しみが一層広がります。

専用アプリOLYMPUS Image Share (OI.Share)を使ってできること

- カメラの写真をスマートフォンへ転送
カメラ内の画像をスマートフォンに取り込むことができます。
- スマートフォンからリモート撮影
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- 写真をステキに加工
スマートフォンに取り込んだ画像にアートフィルターを適用したり、スタンプを追加できます。
- カメラの画像にGPSタグを追加
スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送するだけで、撮影した画像にGPSタグを追加することができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oishare/>

- 無線LAN機能を使用する前に「無線LAN機能について」(P. 126)をよくお読みください。
- 本機を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。
- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本機の無線LAN機能を使って、自宅や公衆のアクセスポイントに接続することはできません。
- 送受信アンテナは、カメラのグリップ部分にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。

スマートフォンに接続する

- 1 スマートフォンにインストールした専用アプリOl.Shareを起動する。
 - Ol.Trackを使ってスマートフォンと接続することもできます。
- 2 カメラの再生メニューで[スマートフォン接続]を選択して \odot ボタンを押す。
 - 撮影待機時に**MENU**ボタンを長押ししても[スマートフォン接続]を開始できます。
- 3 カメラのモニターに表示されるガイドに従い、Wi-Fi接続準備を進める。
- 4 カメラのモニターに表示されたQRコードをOl.Shareを起動したスマートフォンで読み取ると、自動的に接続される。

QRコードを読み取れないときは

スマートフォンのWi-Fi設定で、SSIDとパスワードを設定して接続します。(SSIDとパスワードは、QRコードが表示されている画面の左下に表示されます)

スマートフォンのWi-Fi設定については、スマートフォンの取扱説明書をお読みください。



- 接続を終了するには、カメラの**MENU**ボタンを押します。

エラーメッセージが表示されたときは

カメラとスマートフォンを接続しなおす必要があります。

- ① スマートフォンのWi-Fi接続設定でWi-Fi機能を一度オフにします。
- ② 再度オンにして、スマートフォンが他の接続先につながる前にTG-5のSSIDを選択します。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。

🔗 [シェア予約] (P. 14)

1 カメラをスマートフォンと接続する(P. 75)。

2 Ol.Shareで写真転送ボタンをタップする。

- カメラ内の画像が一覧で表示されます。
- 「エラーメッセージが表示されたときは」(P. 75)

3 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップする。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。

スマートフォンからリモート撮影する

カメラをスマートフォンから操作してリモート撮影ができます。

[プライベート] (P. 78)でのみ使用できます。

1 カメラをスマートフォンと接続する(P. 75)。

2 Ol.Shareでリモコンボタンをタップする。

- 「エラーメッセージが表示されたときは」(P. 75)

3 シャッターボタンをタップして撮影する。

- 撮影した画像は、カメラ内のカードに記録されます。
- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

画像に位置情報をつける

スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送することで、GPSログを記録していた間に撮影した写真にGPSタグを追加できます。

[プライベート] (P. 78)でのみ使用できます。

1 撮影を始める前にOI.Shareを起動して位置情報付与ボタン上のスイッチをオンにして、GPSログの記録を開始する。

- GPSログ記録開始前に、時刻を同期するためにカメラを一度OI.Shareに接続しておく必要があります。
- GPSログ記録中は、電話や他のアプリの使用はできませんが、OI.Shareは終了させないでください。

2 撮影が終わったら、位置情報付与ボタン上のスイッチをオフにする。

GPSログの記録が終了します。

3 カメラをスマートフォンと接続する(P. 75)。

4 OI.Shareで記録したGPSログをカメラに転送する。

- 転送したGPSログを元に、カード内の画像にGPSタグをつけます。
 - 位置情報が付与された画像は、再生時の情報表示詳細画面に緯度・経度が表示されます。
 - 「エラーメッセージが表示されたときは」(P. 75)
-
- 位置情報付与機能はGPS機能をもったスマートフォンでのみ使用できます。
 - ムービーには位置情報は付与されません。

接続の方法を変更する

スマートフォンと接続する方法には、いつも同じ設定で接続する[プライベート]と、接続の度に異なる設定で接続する[ワнтаイム]があります。ご自分のスマートフォンと接続するときは[プライベート]、ご友人等のスマートフォンに画像を転送するときは[ワнтаイム]が便利です。

- 出荷時は[プライベート]が設定されています。

1 セットアップメニューで[Wi-Fi設定]を選択してⓐボタンを押す。

2 [Wi-Fi接続設定]を選択して十字ボタン(右)を押す。

3 無線LAN接続の方法を選択してⓐボタンを押す。

- [プライベート]：1台のスマートフォンと接続する(初回の接続設定以降は自動的に接続します)。Ol.Shareのすべての機能が使えます。
- [ワнтаイム]：複数台のスマートフォンと接続する(毎回異なった接続設定で接続します)。Ol.Shareの写真転送機能のみ使えます。カメラでシェア予約された画像のみ閲覧できます。
- [毎回確認]：毎回どちらの方法で接続するかを選択します。
- [Off]：Wi-Fi機能を使用しません。

パスワードを変更する

[プライベート]で使うパスワードを変更します。

1 セットアップメニューで[Wi-Fi設定]を選択してⓐボタンを押す。

2 [プライベートパスワード]を選択して十字ボタン(右)を押す。

3 操作ガイドに従ってⓐ (ムービー)ボタンを押す。

- 新しいパスワードに設定されます。

シェア予約を解除する

画像に設定されているシェア予約を解除します。

- 1** セットアップメニューで[Wi-Fi設定]を選択してⓀボタンを押す。
- 2** [全シェア予約解除]を選択して十字ボタン(右)を押す。
- 3** [実行]を選択してⓀボタンを押す。

無線LAN設定の内容をリセットする

[Wi-Fi接続設定]の設定内容を初期化します。

- 1** セットアップメニューで[Wi-Fi設定]を選択してⓀボタンを押す。
- 2** [Wi-Fi設定リセット]を選択して十字ボタン(右)を押す。
- 3** [実行]を選択してⓀボタンを押す。

GPS機能を使う

このカメラでは、カメラとして使用していないとき、または撮影しながら、位置、標高などのGPSや各種センサー情報を取得し、ログとして記録できます。また、その情報を撮影した静止画にも付与することができます。記録したログは、スマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)で読み込んで利用することができます。

- 位置情報が付与された画像には、緯度と経度が表示されます。
- このカメラにはナビゲーション機能は搭載されていません。
- アプリは最新のバージョンをお使いください。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

お使いの前に

- GPS機能を使用する前に「GPS機能、電子コンパスについて」(P. 130)をよくお読みください。
- 国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得をすることは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。
また国外に持ち出す際には、持ち出す国や地域によって定められた法律があります。必ずそれにしただけください。
- 飛行機内などGPS機能の使用を禁止されている場所では、必ずLOGレバーを**OFF**にし、[GPS位置情報記録] (P. 70)および[日時設定] (P. 72)の[GPS自動日時補正]を両方とも**[Off]**にしてください。
- 本機は準天頂衛星システム、GLONASSにも対応しています。

GPS機能を使う前に(GPSアシストデータ)

カメラや通信の状態によっては位置情報の取得(測位)に時間がかかることがあります。GPSアシストデータを使うと、測位時間を数秒～数十秒に短縮できます。GPSアシストデータは、スマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)やパソコン用の専用ソフトウェアOLYMPUS A-GPS Utilityを使用して更新することができます。

- カメラの日時設定を正しく設定しておいてください。
- カメラは[プライベート] (P. 78)に設定してください。

- GPSアシストデータは4週間ごとに更新が必要になります。
データ更新から時間が経つと、測位情報がずれることがありますので、できるだけ新しいGPSアシストデータを使用してください。
- GPSアシストデータの提供は予告なく終了することがあります。

スマートフォンを使ってGPSアシストデータを更新する

あらかじめスマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)をインストールしてください。GPSアシストデータの更新方法は、下記アドレスをご覧ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

「スマートフォンに接続する」(P. 75)にしたがってスマートフォンと接続してください。

- カメラとの接続でエラーが表示されたときは、カメラとスマートフォンの接続をしないする必要があります。❗「エラーメッセージが表示されたときは」(P. 75)

パソコンを使ってGPSアシストデータを更新する

下記のアドレスからパソコン用の専用ソフトウェアOLYMPUS A-GPS Utilityをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。

<http://sdl.olympus-imaging.com/agps/>

データの更新方法は、上記アドレスのウェブサイトに掲載されている「OLYMPUS A-GPS Utility利用説明書」をご覧ください。

GPS機能を使うには

次のいずれかの場合にGPS機能が有効になります。

- LOGレバーを**LOG**にする(P. 46)／[GPS位置情報記録](P. 70)を[On]にする／[日時設定](P. 72)の[GPS自動日時補正]を[On]にする
- GPSアンテナ部(P. 5)を手や金属で覆わないでください。
- GPSアシストデータを更新していないと、GPS機能を初めてお使いになる場合や、しばらく使用していなかった場合は測位が完了するまでに数分かかることがあります。
- GPS機能を有効にすると、電池の消耗が早くなります。[GPS動作モード](P. 70)で[省電力優先]に設定すると、消費電力を抑えながらGPS機能を使用できます。

GPSログを軌跡表示する

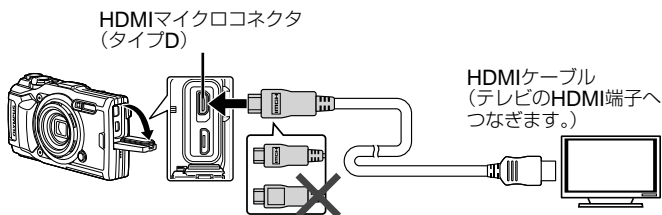
GPSログを記録したあとで、OLYMPUS Viewer 3またはOI.Trackを使用して、GPSログの軌跡を表示することができます。

- 移動の軌跡はカメラ本体では表示できません。

他の機器と接続して使う

カメラの画像をテレビで見る

HDMIケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで見ながら撮影や再生をすることができます。



1 テレビとカメラをケーブルで接続する。

2 カメラの電源を入れる。

3 テレビの入力を切り換える。

- ケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。
- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- USBケーブルとHDMIケーブルは同時に挿さないでください。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

4K優先	4Kを優先してHDMI出力します。 <ul style="list-style-type: none">• 撮影モードの場合、出力時の画質は4Kよりも低画質になります。
1080p優先	1080pを優先してHDMI出力します。
720p優先	720pを優先してHDMI出力します。
480p/576p	480p/576p形式でHDMI出力します。

テレビのリモコンを使う

あらかじめメニューで設定しておくと、HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続したときにテレビのリモコンで操作することができます。

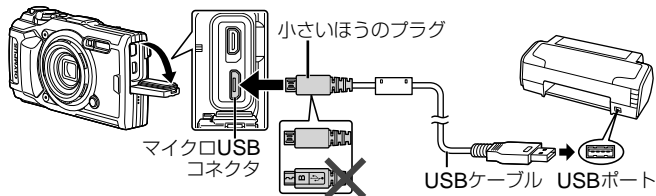
- 1** カスタムメニュー B2の[HDMI] (P. 66)を選択し、**OK** ボタンを押す。
 - 2** [HDMIコントロール]を選択し、[On]に設定する。
 - 3** テレビとカメラをケーブルで接続する。
 - 4** テレビの入力を切り換える。
 - 5** テレビのリモコンで操作する。
 - テレビに表示された操作ガイドにしたがって操作できます。
 - テレビによっては使用できない機能があります。
- HDMIケーブルの接続中は撮影できません。
 - 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
 - パソコンやプリンタとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。

画像をプリントする

ダイレクトプリント(PictBridge)

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。

接続方法



- プリントを始める際は、充電した電池をご使用ください。
- ムービーはプリントできません。

■ かんたんプリントでプリントする


1コマ再生(P. 12)でプリントしたい画像を選びながら1枚ずつプリントします。

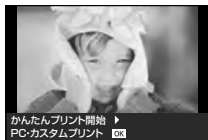
1 十字ボタン(左右)を押して、プリントする画像をカメラに表示する。

2 カメラとプリンタを付属のUSBケーブルで接続する。

- かんたんプリント開始の画面が表示されないときは、一度USBケーブルを抜いて、手順1からやり直してください。

3 十字ボタン(右)を押す。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは十字ボタン(左右)を押して画像を選択し、ボタンを押します。
- 終了するときには、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。



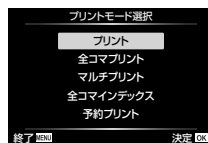
■ カスタムプリントでプリントする

プリントの種類や用紙の設定をしてプリントします。

- 1 カメラとプリンタを付属のUSBケーブルで接続し電源を入れる。
- 2 表示された画面で[プリント]を選択して \odot ボタンを押す。



- モニターにプリントモードを選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、一度USBケーブルを抜いてから、再度プリンタに接続してください。



- 3 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をする。

プリントモードを選択する

プリントの種類(プリントモード)を選びます。選択できるプリントモードは、以下の通りです。

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	カードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	カード内の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約(P. 88)の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像がないときは、選択できません。

用紙を設定する

この設定内容は、プリンタの対応によって選択肢が異なります。プリンタの標準設定しか使えない場合は、設定を変更することができません。

サイズ	プリンタで用意されている用紙に合わせます。
フチ	用紙いっぱいにはプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。
分割数	同じ画像を1枚の用紙に何枚プリントするかを選択します。プリントモードで[マルチプリント]を選択すると、この設定項目が表示されます。

プリントする画像を選ぶ

プリントする画像を選びます。選んだ画像を後でまとめてプリント(1枚予約)したり、表示している画像をプリントすることができます。




プリント(OK)	表示している画像をプリントします。[1枚予約]をした画像が1枚でもあると、予約されている画像のみプリントされます。
1枚予約(⏏)	表示している画像をプリントする予約をします。[1枚予約]をしたら、十字ボタン(左右)で次に予約したい画像を選んでください。
詳細予約(⏏)	表示している画像のプリント枚数や情報、プリントするかどうかを設定します。操作については「プリントする情報を設定する」をご覧ください。

プリントする情報を設定する


画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。

プリント枚数	プリントする枚数を設定します。
日付	画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。
ファイル名	画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。
トリミング	画像をトリミングします。コントロールダイヤルでトリミングサイズ、十字ボタン(上下左右)でトリミング位置を指定します。

3 プリントする画像や内容が決まったら、[プリント]を選択し、ボタンを押す。

- プリントを始めてから途中で停止したいときは、ボタンを押します。
プリントを続行するには、[続行]を選択します。

■ プリントを中止するには

[中止]を選択して、ボタンを押します。その場合、設定した予約などはすべて失われます。予約した内容を残して、続けて予約や設定をしたいときは、MENUボタンを押します。1つ前の設定に戻ります。

プリント予約(DPOF)

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。パソコンやカメラがなくても、プリント予約したカードだけで、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。

- プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。
- 他のDPOF機器で設定したDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999画像です。

■ 1コマずつプリント予約する[1コマ予約]

1 MENUボタンを押してメニューを表示する。

- 「メニューの使い方」(P. 52)

2 (再生メニュー)の[プリント予約]を選び、 ボタンを押す。

3 十字ボタン(上下)で[1コマ予約]を選び、 ボタンを押す。



4 十字ボタン(左右)で予約する画像を、十字ボタン(上下)で予約する枚数を選び、 ボタンを押す。

- 5** 十字ボタン(上下)で[日時プリント]画面での設定を選び、**Ⓚ**ボタンを押す。

サブメニュー 2	用途
無し	画像のみをプリントする。
日付	画像と撮影年月日をプリントする。
時刻	画像と撮影時刻をプリントする。

- 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。

- 6** 十字ボタン(上下)で[予約する]を選び、**Ⓚ**ボタンを押す。

■ カード内の画像を全て1枚ずつプリント予約する[全コマ予約]

- 1** [1コマ予約] (P. 88)の手順1、2を行う。
- 2** 十字ボタン(上下)で[全コマ予約]を選び、**Ⓚ**ボタンを押す。
- 3** [1コマ予約]の手順5、6を行う。

■ すべてのプリント予約を解除する

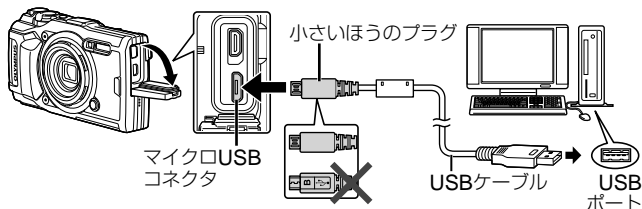
- 1** [1コマ予約] (P. 88)の手順1、2を行う。
- 2** [1コマ予約]、[全コマ予約]のいずれかを選び、**Ⓚ**ボタンを押す。
- 3** 十字ボタン(上下)で[解除する]を選び、**Ⓚ**ボタンを押す。

■ 1コマずつプリント予約を解除する

- 1** [1コマ予約] (P. 88)の手順1、2を行う。
- 2** 十字ボタン(上下)で[1コマ予約]を選び、**Ⓞ**ボタンを押す。
- 3** 十字ボタン(上下)で[解除しない]を選び、**Ⓞ**ボタンを押す。
- 4** 十字ボタン(左右)で予約を解除する画像を選び、十字ボタン(上下)で予約する枚数を「0」にする。
- 5** 必要に応じて手順4を繰り返し、最後に**Ⓞ**ボタンを押す。
- 6** 十字ボタン(上下)で[日時プリント]の設定を選び、**Ⓞ**ボタンを押す。
 - プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
- 7** 十字ボタン(上下)で[予約する]を選び、**Ⓞ**ボタンを押す。

カメラをパソコンに接続する

接続方法



- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。
- パソコンと接続できない場合は、一度ケーブルを外し、再度パソコンに接続しなおしてください。
- パソコンと**USB**接続している間も、電池を充電することができます。充電時間はパソコンなどの性能により大きく異なります(パソコンなどの性能によっては**10時間**程度かかる場合もあります)。

パソコンに画像を取り込んで保存する

接続できるパソコンの環境は以下の通りです。

Windows	Windows Vista SP2/Windows 7 SP1/Windows 8/ Windows 8.1/Windows 10
Mac	OS X v10.8 - v10.11/macOS v10.12

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続する。

- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 表示された画面で[ストレージ]または[MTP]を選択して \odot ボタンを押す。



サブメニュー1	用途
ストレージ	パソコンにカードリーダーとして接続します。
MTP	パソコンにポータブルデバイスとして接続します。

3 カメラが新しい機器としてパソコンに認識される。

- 手順2で[MTP]を選択すると、Windows フォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン／工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン／自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- パソコンに認識されない場合は、一度USBケーブルを抜いてから、再度パソコンに接続し直してください。

ソフトウェアのインストール

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェア、OLYMPUS Viewer 3をご用意しています。

- OLYMPUS Viewer 3は下記のアドレスからダウンロードし、画面のメッセージに従ってインストールしてください。
<http://support.olympus-imaging.com/ov3download/>
- 動作環境、インストール方法は上記URLのホームページでご確認ください。
- OLYMPUS Viewer 3のダウンロードには、ご利用製品のシリアルナンバーを入力する必要があります。

オリンパスデジタルカメラアップデーターのインストール

カメラのファームウェアをアップデートするには、オリンパスデジタルカメラアップデーターが必要です。アップデーターは下記URLのウェブサイトからダウンロードし、画面のメッセージに従ってインストールしてください。

<http://oup.olympus-imaging.com/ou1download/index/>

ユーザー登録について

ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

使い方のヒント

思い通りに操作できない、画面にメッセージが表示されるがどうして良いかわからないときは、以下を参考にしてください。

故障かな？と思ったら

■ 電池

「電池を入れてもカメラが動かない」

- 充電された電池を正しい向きで入れる。「電池とカードを入れる／取り出す」(P. 6)
- 寒さのため一時的に電池の性能が低下していることがあります。カメラから電池を一度取り出し、ポケットに入れるなどして少し温めます。

■ カード

「メッセージが表示される」

- 「エラーメッセージ」(P. 95)

■ シャッターボタン

「撮影できない」

- スリープモードを解除する
カメラは電源Onの状態では、一定時間何も操作しないとスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、モニターは自動的に消灯します。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。ズームレバーやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。さらに5分放置すると、カメラは電源Offの状態になります。ON/OFFボタンを押して電源を入れてください。
- 撮影モードにする。
- ⚡ (フラッシュ充電)アイコンの点滅が消えるのを待って撮影する。
- 長時間使用し、カメラの内部温度が上がると、自動的に動作を停止するときがあります。電池を取り出し、カメラが冷えるまで待ちます。また使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

■ モニター

「見にくい」

- 結露が起きている可能性があるので、電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影する。

「撮影した画像に光が写っている」

- 夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写り込むことがあります。

■ 日時機能

「設定した日時が元に戻った」

- 電池を抜いた状態で約3日間*1放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります。設定し直してください。

*1 初期設定に戻るまでの時間は、電池を入れ換えてからの時間によって異なります。「電源を入れ、初期設定をする」(P. 10)

■ レンズ

「レンズが曇る」

- 急激な温度変化で曇り(結露)が発生する場合があります。
電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影してください。





■ その他

「方位が正しく示されない」

- 強い磁気や電波の影響(テレビ、電子レンジ、大型モーター、電波塔や高圧線の近くなど)があると誤動作します。カメラを持って、手首を返しながら8の字に振ると復帰する場合があります。

エラーメッセージ

- モニターに以下のメッセージが表示されたときは、以下の内容を確認してください。






エラーメッセージ	問題を解決するには
 このカードは使用できません	カードの問題 新しいカードを入れます。
 書き込み禁止になっています	カードの問題 カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。
 撮影可能枚数が0です	カードの問題 カードを交換します。 不要な画像を消去します。*1
 カード残量がありません	

*1 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。




エラーメッセージ	問題を解決するには
	カードの問題 十字ボタン(上下)で[カード初期化]を選び、 OK ボタンを押します。続けて十字ボタン(上下)で[する]を選び、 OK ボタンを押します。 ^{*2}
 画像が記録されていません	カードの問題 撮影してから再生します。
 この画像は再生できません	選んだ画像の問題 画像ソフトなどを使いパソコンで再生します。それでも再生できないときは、画像ファイルの一部が壊れています。
 この画像は編集できません	選んだ画像の問題 画像ソフトなどを使いパソコンで編集します。
 電池残量がありません	電池の問題 電池を充電します。
 接続されていません	接続の問題 カメラとパソコン、テレビ、またはプリンタを正しく接続します。
 用紙がありません	プリンタの問題 プリンタに用紙を補充します。
 インクがありません	プリンタの問題 プリンタにインクを補充します。
 紙づまりです	プリンタの問題 紙づまりを解消します。
プリンタの設定が変更されました^{*3}	プリンタの問題 プリンタを使用できる状態に戻します。
 プリンタエラーです	プリンタの問題 カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してからもう一度電源を入れ直します。

^{*2} データはすべて消去されます。

^{*3} プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をすると表示されます。プリントの設定中は、プリンタの操作をしないでください。

エラーメッセージ	問題を解決するには
 この画像はプリントできません *4	選んだ画像の問題 パソコンなどを使いプリントします。
 °C/°F	カメラ内部温度の問題 カメラの電源を切り、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がる までお待ちください	カメラ内部温度の問題 しばらくすると、自動的に電源が切れます。カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
 現在ログ機能は 使用できません	ログ記録の問題 <ul style="list-style-type: none"> ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになっています。カードを正しく入れてログをカードに保存してください。 電池残量がありません。電池を充電してください。 HDMIケーブルを使ってテレビなどの外部機器と接続中です。ケーブルを抜いて接続を解除してください。 カメラが無線通信中です。無線通信を終了してください。 電池をカメラに入れていない状態でUSB-ACアダプタを使ってコンセントからカメラの電源を供給しています。カメラに電池を入れ、USB-ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
 カード内のログファイル数が 上限です これ以上ログファイルを 作成できません	ログ情報の問題 カードにログの保存ができません。ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。 <ul style="list-style-type: none"> 保存できるログファイル数の上限は199個までです。

*4 他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。

エラーメッセージ	問題を解決するには
<div data-bbox="163 295 239 361">  (点滅) </div>	<p>ログ情報の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> カードに保存されていないログが残っています。カードを正しく入れてログをカードに保存してください。 カードにログの保存ができません。ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。 <ul style="list-style-type: none"> 保存できるログファイル数の上限は199個までです。 <p>カードの問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいカードを入れます。 カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。 不要な画像を消去します。*5
<div data-bbox="163 827 239 892">  (点灯) </div>	<p>ログ記録の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになっています。カードを正しく入れてログをカードに保存してください。 電池残量がありません。電池を充電してください。 HDMIケーブルを使ってテレビなどの外部機器と接続中です。ケーブルを抜いて接続を解除してください。 カメラが無線通信中です。無線通信を終了してください。 電池をカメラに入れていない状態でUSB-ACアダプタを使ってコンセントからカメラの電源を供給しています。カメラに電池を入れ、USB-ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。 日時と地域が設定されていません。日時と地域の設定を行ってください。
<div data-bbox="129 1191 272 1256">  (赤色に点灯) </div>	<p>GPS機能の問題</p> <p>GPSが故障です。電源を入れ直してもエラーメッセージが消えない場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。</p>

*5 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。

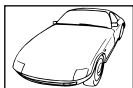
撮影のヒント

イメージした通りに写真を撮るための撮影方法がわからないときは、以下を参考にしてください。

■ ピント

「狙ったものにピントを合わせたい」

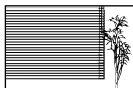
- **画面の中心以外にある被写体を撮る**
被写体と同じ距離にあるものにピントを合わせたあと、構図を決めて撮影します。
半押し(P. 11)
- **〔自動追尾〕(P. 35)で撮る**
動いている被写体に自動でピントを合わせて続けて撮れます。
- **暗いところにある被写体を撮る**
AF補助光を使うとピントが合いやすくなります。「AFイルミネーター」(P. 56)
- **オートフォーカスが苦手な被写体を撮る**
以下のときは、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりとしたものにピントを合わせた後(シャッターボタン半押し)、構図を決めて撮影します。



コントラストが
はっきりしない被写体



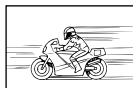
画面中央に極端に
明るいものがある場合



縦線のない被写体*¹



遠いものと近いものが
混在する場合



動きの速いもの






被写体がAFター
ゲット内がない

*¹ カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。



■ 手ぶれ

「ぶれない写真を撮りたい」

- **【手ぶれ補正】(P. 42)を使って撮る**
ISO感度を上げなくてもカメラが手ぶれを補正する動きをします。高倍率ズームで撮影するときにも有効です。
- **ムービー撮影時は【手ぶれ補正】(P. 42)を使って撮る**
- **SCNモード【動きのあるものを撮る】の【スポーツ】(P. 26)で撮る**
【スポーツ】を選ぶと、速いシャッター速度で撮影できるので、被写体ぶれにも有効です。
- **高いISO感度で撮る**
高いISO感度を選ぶと、フラッシュを使えない場所でも速いシャッター速度で撮影できます。「ISO感度」(P. 38)

■ 露出(明るさ)

「イメージ通りの明るさで撮りたい」

- **逆光の被写体を撮る**
逆光でも顔や背景を明るく撮れます。
【HDR逆光補正】(P. 26)
- **【スポット】(P. 44)測光で撮る**
画面中央の被写体に明るさをあわせて撮影するので、背景の光に影響されません。
- **【発光】(P. 31)フラッシュで撮る**
逆光でも被写体が暗くならず撮れます。
- **白い砂浜・雪景色をきれいに撮る**
SCNモード【風景を撮る】の【ビーチ&スノー】で撮影します。(P. 26)
- **露出補正(P. 32)して撮る**
画面を確認しながら明るさを調節して写します。通常、白い被写体(雪など)を撮影すると実際より暗く写てしまいますが、プラスに補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆にマイナスに補正すると効果的です。

■ 色合い

「見た目と同じ色で撮りたい」

- [ホワイトバランス] (P. 38)を選んで撮る

通常は[WBオート]でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては設定を変えて試してみるほうが良いことがあります(晴天下の日陰や、自然光と照明光が混ざってあたる時、など)。

■ 画質

「きめ細かい写真を撮りたい」

- 低いISO感度で撮る

[ISO感度]を高くすると、ノイズ(本来そこにはないはずの色の小さな点や色むら)が発生し、画像が粗く見えます。「ISO感度」(P. 38)

再生・編集のヒント

■ 再生

「ハイビジョンテレビで高画質で見たい」

- HDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐ

「カメラの画像をテレビで見る」(P. 82)

■ 編集

「静止画に録音済みの音声を消したい」

- 音声を削除したい画像を表示して、[録音] (P. 61)で[消去]を選ぶ

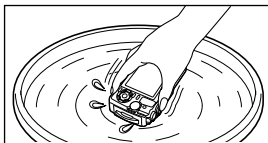
アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、5年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。
但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修性能部品の有無、及び保有している場合はその期間（製造打ち切り後5年間を目安に保有いたします）等に応じ、当社の判断で、本製品の修理又は同等品への交換（製品交換）のいずれかにて対応させていただきます。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いいたします。

カメラのお手入れ

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。
- 「砂や泥、ほこりなどの異物がカメラに付着するような場所で使用したとき」は、そのまま使用すると故障の原因となる場合がありますので、次の方法ですすぎ洗いをしてください。
 - ① 電池／カードカバーおよびコネクタカバーをしっかりと閉じて、ロックしてください。(P. 6)
 - ② バケツなどに真水を張り、カメラを下向きにした状態で水の中に入れ、よく揺すります。また、強めの水道水を当てながら、ボタン、ダイヤルを操作しすすぎ洗いをしてください。



モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- レンズブローワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。
- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。

電池／USB-ACアダプタ：

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

カメラの保管

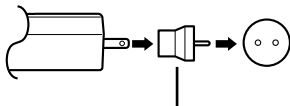
- カメラを長期間使用しないときは、電池やカードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。
- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

別売の充電器を使う

付属の充電電池は充電器(UC-90：別売)を使って充電することもできます。

海外での使用について

- 充電器とUSB-ACアダプタは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプタ(市販)が必要になる場合があります。



変換プラグアダプタ(市販品の一例)

詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

- 市販の海外旅行用電子変圧器(トラベルコンバーター)は、充電器とUSB-ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。

カードを使う

このカメラで利用できるカード

SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード(市販)

(動作確認済みカードは当社ホームページをご確認ください。)

Eye-Fiカードについて

- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、カードの機能を停止してください。
- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなることがあります。

SD/SDHC/SDXCカードの書き込み禁止スイッチ

SD/SDHC/SDXCカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



初期化

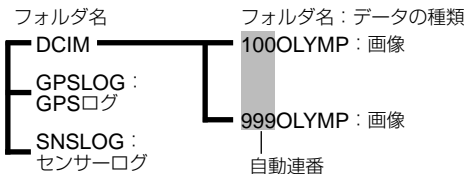
新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途に使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

カードの読み出し／書き込み動作

撮影時のみ、データの書き込み中に使用メモリ表示が赤く点灯します。データの書き込み中は絶対に電池／カードカバーを開けたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、カードが使用できなくなることがあります。

カードの保存先について

カードに保存される各データは、図のフォルダ内に保存されます。



カードの撮影可能枚数(静止画)／撮影可能時間(ムービー)

- 撮影可能枚数および撮影可能時間は目安です。実際の撮影可能枚数および撮影可能時間は、撮影条件や使用するカードによって異なります。
- 撮影可能枚数／撮影可能時間は、4GBのカードを使用した場合の目安です。

静止画*1




アイコン	画質モード	画像サイズ	撮影可能枚数
RAW	RAW	4000×3000	270枚
SF+RAW	[L] SF+RAW		164枚
F+RAW	[L] F+RAW		187枚
N+RAW	[L] N+RAW		220枚
B+RAW	[L] B+RAW		233枚
SF+RAW	[M] SF+RAW	3200×2400	190枚
F+RAW	[M] F+RAW		210枚
N+RAW	[M] N+RAW		234枚
B+RAW	[M] B+RAW		244枚
SF+RAW	[S] SF+RAW	1280×960	250枚
F+RAW	[S] F+RAW		255枚
N+RAW	[S] N+RAW		260枚
B+RAW	[S] B+RAW		262枚
SF	[L] SF	4000×3000	436枚
F	[L] F		638枚
N	[L] N		1231枚
B	[L] B		1766枚
SF	[M] SF	3200×2400	673枚
F	[M] F		975枚
N	[M] N		1846枚
B	[M] B		2593枚

アイコン	画質モード	画像サイズ	撮影可能枚数
SF	[S] SF	1280×960	3385枚
F	[S] F		4514枚
N	[S] N		7170枚
B	[S] B		8706枚

*1 画像サイズはアスペクト比4:3時の例です。

ムービー

アイコン	画像サイズ／ビットレート／ フレームレート	撮影可能時間	
		音声あり	音声なし
🎬のサブモードが[通常]の場合*1			
	1920x1080 Super Fine 60p	10分	
	1920x1080 Super Fine 50p		
	1920x1080 Super Fine 30p		
	1920x1080 Super Fine 25p		
	1280x720 Super Fine 30p	20分	
	1280x720 Super Fine 25p		
	1920x1080 Fine 60p	17分	
	1920x1080 Fine 50p		
	1920x1080 Fine 30p		
	1920x1080 Fine 25p		
	1280x720 Fine 30p	29分	
	1280x720 Fine 25p		
	1920x1080 Normal 60p		
	1920x1080 Normal 50p		
	1920x1080 Normal 30p		
	1920x1080 Normal 25p		
	1280x720 Normal 30p		
	1280x720 Normal 25p		

アイコン	画像サイズ／ビットレート／ フレームレート	撮影可能時間	
		音声あり	音声なし
📹のサブモードが[4K]の場合			
	3840×2160 30p	5分	
	3840×2160 25p		
📹のサブモードが[HS]の場合*2			
	1920×1080 HighSpeed 120fps	20秒	
	1280×720 HighSpeed 240fps		
	640×360 HighSpeed 480fps		

*1 連続して撮影できる時間は、最長29分です。

*2 連続して撮影できる時間は、最長20秒です。

- カードの容量に関わらず、1度に記録できるムービーの最大ファイルサイズは4GBまでになります。

撮影枚数を増やすには

不要な画像を消去するか、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存してから、カードの画像を消去します。[1コマ消去]（P. 19）、[選択コマ消去]（P. 13）、[全コマ消去]、[カード初期化]（P. 72）

オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムを使って撮る

オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムに対応しているフラッシュを使用すると、ワイヤレスでフラッシュ撮影や水中フラッシュ撮影ができます。

ワイヤレスフラッシュ撮影での設置可能な範囲は周辺環境により変わりますが、カメラの内蔵フラッシュから1～2mが目安です。

- カメラとフラッシュの通信にはカメラの内蔵フラッシュを使用します。
- 専用水中フラッシュを使うには、防水プロテクター、光ファイバーケーブルなどが必要です。
- ワイヤレスフラッシュや水中フラッシュの操作については、専用外部フラッシュや防水プロテクターなどの取扱説明書をご覧ください。

- 1 専用フラッシュの電源を入れる。**
- 2 専用フラッシュの発光モードをRCモードに設定する。**
チャンネルやグループの設定がある場合は、CH1、グループAに設定します。
- 3 ライブコントロールでフラッシュを選び、[⚡RC]（リモートコントロール）を選ぶ。**
 - 「フラッシュ撮影」(P. 31)
- 4 テスト撮影をして、フラッシュの作動や撮影した画像を確認する。**
 - カメラとワイヤレスフラッシュの充電状況を確認してから撮影します。
 - カメラのフラッシュが[⚡RC]のとき、カメラ本体の内蔵フラッシュはワイヤレスフラッシュとの通信に使用されます。撮影のためのフラッシュとしては使用できません。
 - ワイヤレスフラッシュ撮影では、専用外部フラッシュのリモートセンサーをカメラに向け、発光部を照射方向に向けて設置します。

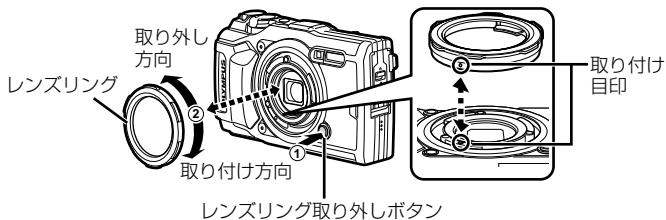
別売のコンバーターなどを使う

遠近感を強調した風景やペットのユニークな表情などが撮影できるフィッシュアイコンバーターと、より遠くの風景を撮影できるテレコンバーターが使用できます。マクロ撮影時には、マクロLEDの照明ムラを防ぐことができるLEDライトガイドを使うことができます。フラッシュディフューザーをカメラに取り付けると、**▲**（顕微鏡モード）などで接写をするときにフラッシュ撮影ができます。

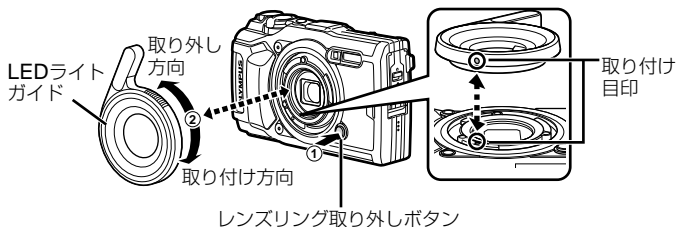
コンバージョンレンズ／LEDライトガイド／ プロテクトフィルター／フラッシュディフューザー	コンバーターアダプター
フィッシュアイコンバーター（FCON-T01）	CLA-T01
テレコンバーター（TCON-T01）	
プロテクトフィルター（PRF-D40.5 PRO）	
LEDライトガイド（LG-1）	—
フラッシュディフューザー（FD-1）	

- 水中での使用後は、真水で洗浄してください。
- LEDライトガイドは水中では使用できません。

レンズリングの取り付け、取り外し方

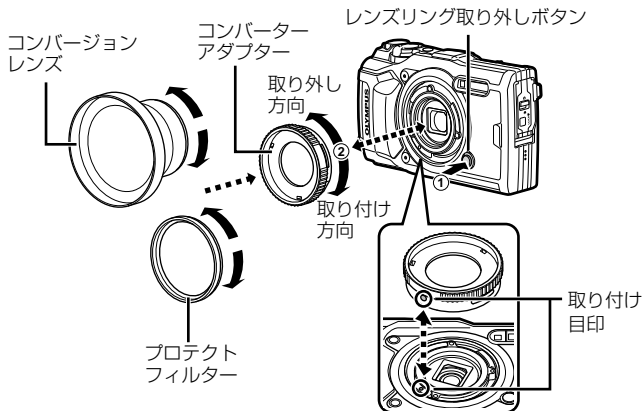


LEDライトガイドの取り付け、取り外し方

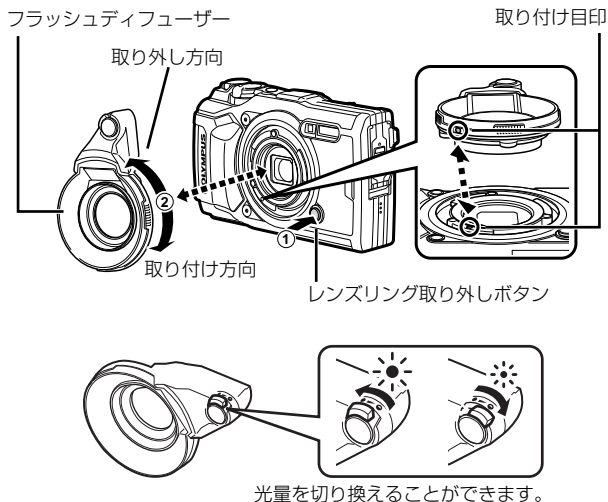


- LEDライトガイド装着時には、フラッシュを発光させないでください。

コンバージョンレンズ／プロテクトフィルターの取り付け、取り外し方



フラッシュディフューザーの取り付け、取り外し方



- レンズリング、コンバーターアダプター、LEDライトガイド、フラッシュディフューザーを取り付けるには、取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。
- 詳しくは、オリンパスホームページ <https://olympus-imaging.jp/> よりご確認ください。

防水・耐衝撃性能について

本製品は、防水性能・耐衝撃性能を備えています。

- 防水性能：JIS/IEC保護等級8級(IPX8)相当*1（当社試験方法による）に該当し、水深15mまでの撮影が可能です。
- 耐衝撃性能：当社試験方法による落下テストをクリアしています。

*1 当社の定める、指定時間および指定圧力の水中に没して使用できることを意味しています。

- 本製品の防水性能・耐衝撃性能については当社試験方法によるものであり、無破損・無故障を保証するものではありません。

以下の点を守り、正しくご使用ください。

水中での使用前の注意

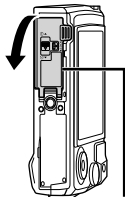
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は繊維くずの出ない清潔な布で取り除いてください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーのパッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開閉ノブとロックノブをしっかりと閉じてください。
- 水辺(海上・湖上・海辺・湖畔等)での電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。
- このカメラは水中で沈みます。
- 温泉では使用できません。

水中での使用中の注意

- 水深15mを超えて、または水中で60分以上使用しないでください。
- 水中では電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開け閉めをしないでください。
- 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。衝撃により電池／カードカバーおよびコネクタカバーが開くおそれがあります。

水中での使用後の注意

- カメラについた水滴や汚れを繊維くすの出ない布で十分にふき取ったあと、電池／カードカバーおよびコネクタカバーを開けてください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーを開くとき、カバーの内側に水滴が入り込まないように、図に示す向きにして、ゆっくり開けてください。カバーの内側表面に水滴がついた場合は、必ずふき取ってからご使用ください。



電池／カードカバー





保管・お手入れについて

- 高温(40°C以上)・低温(-10°C以下)の場所に放置しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 洗浄・防錆・防曇・補修等で薬品類を使わないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用したあとは、電池／カードカバーおよびコネクタカバーをしっかりと閉め、ロックをし、レンズリングをはずした状態でバケツなどに入れた真水に10分程度さらし、そのあと風通しの良い日陰で乾燥させてください。水中での使用後、真水にさらさずに60分以上放置しないでください。カメラの外観不良・防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1年に一度防水パッキンの交換をお勧めします(防水パッキンの交換は有料になります)。
防水パッキンの交換可能代理店・修理店につきましては、本製品に付属の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ <https://olympus-imaging.jp/> よりご確認ください。

その他の注意

- 本製品の付属品(充電機など)は防水性能はありません。
- カメラに衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。

撮影モード設定可能一覧

SCN、、については「 設定可能一覧」(P. 116)、「SCN 設定可能一覧」(P. 118)、「 設定可能一覧」(P. 117)をご覧ください。

		P	A				
						Focus BKT	
露出補正	×	○	○	○	○	○	○
ピクチャーモード	×	○	○	○	*1	*1	○
ISO感度	×	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	×	○	○	○	○	○	○
AF方式	×	○	○	○	○	○	○
アスペクト	○	○	○	○	○	○	×
画質モード(静止画)	○	○	○	○	*1	○	○
画質モード(ムービー)	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
フラッシュ	*1	○	○	*1	*1	*1	*1
フラッシュ補正	×	○	○	○	○	○	○
手ぶれ補正(静止画)	×	○	○	○	○	○	○
手ぶれ補正(ムービー)	×	×	×	×	×	×	×
ドライブ/セルフ	*1	○	○	○	*1	*1	○
測光	×	○	○	○	○	○	○
顔優先	×	○	○	×	×	×	×
アクセサリ	*1	○	○	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○	○	○	○
AFターゲット選択	○	○	○	×	×	×	×
AFイルミネーター	○	○	○	○	○	○	○
インターバル撮影設定	×	○	○	○	×	×	○
Focus BKT	×	○	○	×	×	×	×
ムービー録音	○	○	○	○	○	○	○
録音レベル調整	○	○	○	○	○	○	○
動画フレームレート	○	○	○	○	○	○	○
動画ビットレート	○	○	○	○	○	○	○

*1 設定できない機能があります。

設定可能一覧

			
露出補正	○	○	○
ピクチャーモード	○	*1	*1
ISO感度	×	×	×
ホワイトバランス	○	○	○
AF方式	○	○	○
アスペクト	×	×	×
画質モード(静止画)	○	○	○
画質モード(ムービー)	*1	*1	*1
フラッシュ	×	×	×
フラッシュ補正	×	×	×
手ぶれ補正(静止画)	×	×	×
手ぶれ補正(ムービー)	○	○	×
ドライブ/セルフ	*1	*1	*1
測光	×	×	×
顔優先	○	○	×
アクセサリ	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	*1	*1	*1
AFターゲット選択	○	○	○
AFイルミネーター	○	○	○
インターバル撮影設定	×	×	×
Focus BKT	×	×	×
ムービー録音	○	○	×
録音レベル調整	○	○	×
動画フレームレート	○	○	×
動画ビットレート	○	×	×

*1 設定できない機能があります。

設定可能一覧

				
露出補正	○	○	○	○
ピクチャーモード	×	×	×	×
ISO感度	×	×	×	×
ホワイトバランス	○	○	○	○
AF方式	○	○	○	○
アスペクト	○	○	○	○
画質モード(静止画)	○	○	○	*1
画質モード(ムービー)	*1	*1	*1	*1
フラッシュ	*1	*1	*1	×
フラッシュ補正	○	○	○	×
手ぶれ補正(静止画)	○	○	○	○
手ぶれ補正(ムービー)	×	×	×	×
ドライブ/セルフ	*1	*1	*1	×
測光	×	×	×	×
顔優先	×	×	×	×
アクセサリ	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○
AFターゲット選択	○	○	○	○
AFイルミネーター	○	○	○	○
インターバル撮影設定	×	×	×	×
Focus BKT	×	×	×	×
ムービー録音	○	○	○	○
録音レベル調整	○	○	○	○
動画フレームレート	○	○	○	○
動画ビットレート	○	○	○	○

*1 設定できない機能があります。

SCN 設定可能一覧

											
露出補正	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ピクチャーモード	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ISO感度	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ホワイトバランス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
AF方式	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
アスペクト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画質モード(静止画)	○	*1	○	○	○	○	*1	○	○	○	○
画質モード(ムービー)	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
フラッシュ	*1	*1	*1	*1	*1	×	×	×	×	*1	*1
フラッシュ補正	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
手ぶれ補正(静止画)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
手ぶれ補正(ムービー)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ドライブ/セルフ	*1	*1	*1	*1	*1	*1	×	*1	×	*1	*1
測光	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
顔優先	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×
アクセサリ	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AFターゲット選択	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
AFイルミネーター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
インターバル撮影設定	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
Focus BKT	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ムービー録音	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○
録音レベル調整	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○
動画フレームレート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画ビットレート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*1 設定できない機能があります。

					
露出補正	×	×	○	×	×
ピクチャーモード	×	×	×	×	×
ISO感度	×	×	×	×	×
ホワイトバランス	×	×	○	×	×
AF方式	×	×	×	×	×
アスペクト	○	○	×	○	○
画質モード(静止画)	○	○	×	*1	○
画質モード(ムービー)	*1	*1	*1	*1	*1
フラッシュ	×	*1	×	×	×
フラッシュ補正	×	×	×	×	×
手ぶれ補正(静止画)	○	○	○	○	○
手ぶれ補正(ムービー)	×	×	×	×	×
ドライブ/セルフ	*1	*1	×	×	*1
測光	×	×	×	×	×
顔優先	×	×	×	×	×
アクセサリ	*1	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○	○
AFターゲット選択	○	○	*1	*1	○
AFイルミネーター	○	○	○	○	○
インターバル撮影設定	×	×	×	×	×
Focus BKT	×	×	×	×	×
ムービー録音	○	○	×	×	○
録音レベル調整	○	○	×	×	○
動画フレームレート	○	○	○	○	○
動画ビットレート	○	○	○	○	○

*1 設定できない機能があります。

メニューのリセット/カスタム一覧

*1 [カスタムモード C1]または[カスタムモード C2]に登録可能な機能

*2 [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

*3 [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

📷 撮影メニュー 1

機能	初期設定	*1	*2	*3	👉
リセット/カスタム登録	—	—	✓	—	P.54
ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	P.55
AFターゲット選択	[・]	✓	✓	✓	P.55
AFイルミネーター	Off	✓	✓	✓	P.56

📷 撮影メニュー 2

機能	初期設定	*1	*2	*3	👉
インターバル撮影設定	Off	—	✓	✓	P.56
コマ数	99	—	✓	✓	
撮影開始待ち時間	00:00:01	—	✓	✓	
撮影間隔	00:00:01	—	✓	✓	
タイムラプス動画	Off	—	✓	✓	
タイムラプス動画設定					
ムービーサイズ	FullHD	—	✓	✓	
フレームレート	10fps	—	✓	✓	P.57
Focus BKT	Off	✓	✓	✓	
撮影枚数	30	✓	✓	✓	
フォーカスステップ	標準	✓	✓	✓	

🎞 動画メニュー

機能	初期設定	*1	*2	*3	👉
ムービー録音	On	—	✓	—	P.58
録音レベル調整	0	—	✓	—	P.58
動画フレームレート	30p	—	✓	—	P.58
動画ビットレート	Fine	—	✓	—	P.58


再生メニュー

機能	初期設定	*1	*2	*3	
スライドショー					
スタート	—	—	—	—	P.59
BGM	Party Time	—	✓	✓	
スライド	すべて	—	✓	✓	
1コマ再生時間	3秒	—	✓	—	
ムービー再生	ショート	—	✓	—	
回転再生	On	—	✓	✓	P.59
編集					
画像選択					
RAW編集	—	✓	✓	✓	P.60
JPEG編集	—	—	—	—	
ムービー編集	—	—	—	—	
録音	—	—	—	—	
画像合成	—	—	—	—	
プリント予約	—	—	—	—	P.88
全プロテクト解除	—	—	—	—	P.63
スマートフォン接続	—	—	✓	—	P.74

カスタムメニュー

機能	初期設定	*1	*2	*3	
A. MF					
MFアシスト					P.64
拡大	Off	✓	✓	—	
ピーキング	Off	✓	✓	—	
B1. 表示/音/接続					
 /Info表示設定					P.64
 Info	表示Off、総合表示	✓	✓	✓	
LV-Info	カスタム表示1（ヒストグラム表示）、カスタム表示2（水準器）	✓	✓	✓	
 表示	25、カレンダー表示	✓	✓	—	
LVブースト	Off	✓	✓	✓	P.65
フリッカー低減	オート	✓	✓	—	P.65

機能		初期設定	*1	*2	*3	
B1. 表示/音/接続						
表示野線選択	Off	✓	✓	—	P.65	
ピーキング色	白	✓	✓	—	P.65	
B2. 表示/音/接続						
電子音	3	✓	✓	✓	P.65	
HDMI					P.66	
出力サイズ	1080p優先	—	✓	—		
HDMIコントロール	Off	—	✓	—		
C. 露出/ISO						
露出基準調整					P.66	
	±0	✓	✓	—		
		✓	✓	—		
ISOオート設定	上限値：1600 基準値：100	✓	✓	✓	P.66	
高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	P.66	
長秒時ノイズ低減	オート	✓	✓	✓	P.67	
D. フラッシュ						
 +  連動	Off	✓	✓	✓	P.67	
 +WB連動	WB AUTO	✓	✓	—	P.67	
E. 画質/WB/色						
画質設定	 -1 L F、  -2 L N、  -3 M N、  -4 S N		✓	✓	✓	P.68
WBモード	WB AUTO	A±0、G±0	✓	✓	—	P.68
WBオート 電球色残し	On		✓	✓	✓	P.68
カラー設定	sRGB		✓	✓	✓	P.69
F. 記録						
ファイルネーム	リセット	—	✓	—	P.69	
ファイルネーム編集	—	—	✓	—	P.69	
著作権情報					P.69	
著作権情報記録	Off	—	✓	—		
撮影者入力	—	—	—	—		
著作権者入力	—	—	—	—		
G. フィールドセンサー						
標高/水深設定	—	—	✓	—	P.70	
GPS位置情報記録	Off	—	✓	—	P.70	
GPS動作モード	精度優先	—	✓	✓	P.70	

機能	初期設定	*1	*2	*3	
H. その他					
ピクセルマッピング	—	—	—	—	P.70
水準器調整	—	—	✓	—	P.71
スリープ時間	1分	—	✓	✓	P.71
Eye-Fi設定	On	—	✓	—	P.71
認証マーク表示	—	—	—	—	P.71

イ セットアップメニュー

機能	初期設定	*1	*2	*3	
カードセットアップ	—	—	—	—	P.72
日時設定	—	—	—	—	P.72
 言語設定	日本語	—	—	—	P.73
モニター調整	±0	—	✓	—	P.73
撮影確認	0.5秒	✓	✓	—	P.73
Wi-Fi設定					
Wi-Fi接続設定	プライベート	—	✓	—	P.73
プライベートパスワード	—	—	—	—	
全シェア予約解除	—	—	—	—	
Wi-Fi設定リセット	—	—	—	—	

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- ・火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高圧容器で加熱しない
- ・電磁調理器の上や傍らに置かない
- ・端子を金属類で接続しない
- ・電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- ・高温になる場所で使用・放置しない

直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど

- ・直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない

端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。

- ・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
 - ・電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
 - ・カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

USB-AC アダプタは誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

USB-ACアダプタが、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- USB-ACアダプタを濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- USB-ACアダプタを布などで覆った状態で使用しない
- USB-ACアダプタを分解・改造しない
- USB-ACアダプタは指定の電源電圧で使用する

警告

製品の取り扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- フラッシュやLED（AFイルミネータ含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供、ペットなどの動物が触れる可能性のある場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む。
万一口に飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部だけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどなどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器、USB-ACアダプタ以外は使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。
- 通電中のUSB-ACアダプタ、充電中の電池に長時間触れない
充電中のUSB-ACアダプタや電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない
 - 濡れた手で触ったり持ったりしない
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
 - 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
 - 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズをつけない
破裂・発熱・発火の原因となります。
 - 膨れた電池を無理に機器に取り付けない
発熱・破裂・発火の原因となります。
 - 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・発熱・発火の原因となります。
 - 充電器や機器に接続時、無理に接続しない
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
 - 電子レンジや高圧容器などに入れない
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
 - 電磁調理器の上や傍らに置かない
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
 - カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
 - 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける
火災・感電の原因となります。
- お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

USB-AC アダプタの取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ずUSB-ACアダプタ本体を持つ
USB-ACアダプタ本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線 LAN 機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方から15cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。

注意

製品の取り扱いについて

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間で使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保存する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

USB-AC アダプタの取扱いについて

- お手入れの際は、USB-ACアダプタ本体をコンセントから抜いて行う
USB-ACアダプタ本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。
- 付属のUSB-ACアダプタF-5ACはこのカメラ専用です。
他のカメラに接続して電池を充電することはできません。
- 付属のUSB-ACアダプタF-5ACはこのカメラ以外の機器に接続して使用しないでください。
- プラグインタイプのUSB-ACアダプタF-5ACは、コンセントに垂直に正しく据え付けてください。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池／カードカバーを閉じロックをしてください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カピがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると、磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れない
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 大切なデータは万一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - プリントとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 海外では地域によって電池の入手が困難場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(<http://www.jbrc.com>)をご覧ください。
- モニターは強く押さないでください。
画面上ににじみ残り、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めるとき、モニターにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。
- **本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**



その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、又は改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定省電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS/OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m以下です。

2.4DS/OF4

無線LAN機能の使用について

本機を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

GPS機能、電子コンパスについて

- 上空が開けていない場所(室内、地下、水中、森や高層ビルの近く)、および強い磁気や電波の影響のあるところ(高压電線の近く、磁石や電化製品、1.5GHz携帯電話の近く)では、測位できなかったり、誤差が生じることがあります。
- 測位情報画面や静止画再生画面などで表示される標高は、カメラ本体に内蔵されている圧力センサーからの情報を元に表示・記録されています。GPSの測位情報に基づいた表示はありませんのでご注意ください。
- 強い磁気や電波の影響(テレビ、電子レンジ、大型モーター、電波塔や高压線の近くなど)があると電子コンパスが誤動作する場合があります。カメラをしっかりと持って、手首を返しながら8の字に振ると電子コンパス機能を復帰させることができます。
- GPS機能および電子コンパス機能は、精度を求める機能ではないため、いかなる場合においても測定した値(緯度経度、方角など)に対して保証しません。
- GPS機能及びWi-Fi機能搭載機種については、国や地域によっては定められた法律があり、修理サービスを提供できない場合がありますので、事前にその国や地域のサービスステーションにお問合せ下さい。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本装置は、VCCI自主規制措置運用規定に基づく技術基準に適合したマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、P. 71 [認証マーク表示]に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-ACアダプタ(USB-ACアダプタ対応機種のみ)は、必ず、当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MacおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。



Eye-FiはEye-Fi, Inc.の登録商標です。

Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。



ApicalロゴはApical Limitedの登録商標です。



その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD "AVC VIDEO") AND/OR ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下のURLのウェブサイトに必要に応じて準備されたsoftware notice PDF ファイル内に見出すことができます。

<http://www.olympus.co.jp/en/support/imshow/digicamera/download/notice/notice.cfm>

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会 (JEITA) で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

仕様

カメラ

形式	: デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式	
静止画	: デジタル記録、JPEG (DCF準拠)
対応規格	: Exif 2.3、DPOF、PictBridge
静止画音声	: Waveフォーマット準拠
ムービー	: MOV H.264 リニアPCM (HS120fps、HS240fps、タイムラプス動画時)
記録媒体	: SD/SDHC/SDXC (UHS-I対応) /Eye-Fiカード
総画素数	: 約1271万画素
カメラ部有効画素数	: 1200万画素
撮像素子	: 1/2.3型CMOS (原色フィルター)
レンズ	: オリンパスレンズ4.5 ~ 18.0mm、F2.0 ~ 4.9 (35mmフィルム換算25 ~ 100mm相当)
測光方式	: 撮像素子によるデジタルESP 測光、スポット測光
シャッター	: 4 ~ 1/2000
撮影範囲	
通常	: 0.1m ~ ∞ (W/T)
顕微鏡時	: 0.01m ~ 0.3m (f=5.5 ~ 18.0mm)
モニター	: 3.0型(インチ) TFTカラー液晶、460,000ドット
コネクタ	: マイクロUSBコネクタ/ HDMIマイクロコネクタ(タイプD)
自動カレンダー機能	: 2000 ~ 2099年の範囲で自動修正
防水機能	
種類	: 保護等級8級(IPX8): JISC0920/IEC60529相当(当社試験方法による)、水深 15mで使用可
意味	: 当社の定める、指定時間および指定圧力の水中に没して使用できることを意味する
防塵	: 保護等級6級(IP6X): JISC0920/IEC60529相当(当社試験方法による)
Wi-Fi対応規格	: IEEE802.11b/g/n

GPS

受信周波数 : 1575.42MHz (GPS / 準天頂衛星システム)
1598.0625MHz ~ 1605.3750MHz (GLONASS)

測地系 : WGS84

使用環境

温度 : -10℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)

湿度 : 30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)

電源 : 専用リチウムイオン電池(当社製LI-92B) 1個または、
USB-ACアダプタ(F-5AC)

大きさ : 幅113.0mm × 高さ66.0mm × 厚さ31.9mm
(突起部を除く)

質量 : 250g (電池 / カード含む)

リチウムイオン充電電池LI-92B

形式 : 充電式リチウムイオン電池

Model No. : LI-92B

公称電圧 : DC3.6V

公称容量 : 1350mAh

充放電回数 : 約300回(使用する条件により異なります。)

使用環境

温度 : 0℃ ~ 40℃ (充電時)

USB-ACアダプタ(F-5AC)

Model No. : F-5AC-1/F-5AC-2

定格入力 : AC100 ~ 240V (50/60Hz)

定格出力 : DC5V、1500mA

使用環境

温度 : 0℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing、LLCの商標または登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

索引

英数・記号

🗨 (言語切り換え)	73
📷 (iオートモード)	24
🔍 (顕微鏡モード)	30
🐟 (水中モード)	29
📷/Info表示設定	64
🔍+📷連動	67
🔍+WB連動	67
AFL (フォーカスロック)	34
AFイルミネーター	56
AFターゲット選択	55
AF方式	39
A (Aモード)	25
C1 (カスタムモード1)	25
C2 (カスタムモード2)	25
Eye-Fiカード	105
Eye-Fi設定	71
eポートレート	25
Focus BKT	57
GPS	70、80
GPS位置情報記録	70
GPS動作モード	70
HDMI	66、82、83
ISOオート設定	66
ISO感度	38
LEDライトガイド	110
LVブースト	65
MFアシスト	64
OLYMPUS Image Share (OI.Share)	74
OLYMPUS Image Track (OI.Track)	47、80

OLYMPUS Viewer 3	93
P (プログラム撮影)	11
RCフラッシュ	31、43、109
RAW	40、106
SCN (シーンモード)	25
SDカード	7、105
WB (ホワイトバランス)	38
WBモード	68
WBオート 電球色残し	68
Wi-Fi接続	75
Wi-Fi設定	73、78

あ行

赤目軽減発光	31、43
赤目補正	60
明るさの調整	32
露出補正	32
測光	44
アスペクト	39
色合い	38
印刷	84
インデックス再生	12
インターバル撮影	57
インターバル撮影設定	56
エラーメッセージ	95
音設定/音量	18、65



か行

カード	7、105
カードセットアップ	72
回転再生	59
拡大表示	13

画質	40、106
画質設定	68
カスタムセルフタイマー	34、44
風切り音低減	58
画質モード(静止画)	40、106
画質モード(ムービー)	41、107
画像サイズ(静止画)	40、106
画像サイズを変える (リサイズ)	60
画像の一部を切り出す (トリミング)	60
画像サイズ(ムービー)	41、107
カラー設定	69
カレンダー再生	12
言語設定	73
高感度ノイズ低減	66
光源に合わせた色合いで撮る (WB)	38
コンバージョンレンズ	45、110

さ行

サイズ変更	60
再生	12、18
静止画再生	12
ムービー再生	18
撮影	11、17
静止画撮影	11
ムービー撮影	17
撮影確認	73
撮影モード	24
 (iオートモード)	24
P (プログラム撮影)	11
A (Aモード)	25
C1/C2 (カスタムモード)	25
SCN (シーンモード)	25
 (ムービーモード)	28

 (水中モード)	29
 (顕微鏡モード)	30
自動追尾	35、55
シーンモード	25
シェア予約	15
時刻設定	10、72
自動再生	59
消去	19、72
1コマ消去	19
全コマ消去	72
選択コマ消去	13、19
カード初期化	72
充電	8
パソコンからの充電	91
初期化	72、105
人物の肌質の調整	
SCN 	25
ピクチャーモード (eポートレート)	37
編集(eポートレート)	61
水準器調整	71
水中撮影()	29、109
水中フラッシュ	109
水中モード()	29
ズーム	30
スマートフォン接続	74
スライドショー	16、59
スリープ時間	71
設定可能一覧	115 - 119
セルフタイマー	34、44
全プロテクト解除	63
測位情報	48
測光	44

た行

ターゲット選択	35、55
縦横比	39
長秒時ノイズ低減	67
著作権情報	69
手ぶれ補正(静止画)	42
手ぶれ補正(ムービー)	42
手持ち夜景	25
テレビ接続	82
電子音	65
動画フレームレート	58
動画ビットレート	58
ドライブ	32、44
トリミング(JPEG編集)	60
トリミング(ムービー編集)	61

な行

日時設定	10、72
認証マーク表示	71

は行

パソコン	91
パノラマ	19、28
ピーキング色	65
ピクチャーモード	37、55
ピクセルマッピング	70
標高/水深設定	70
表示野線選択	65
ファイルネーム	69
ファイルネーム編集	69
フォーカスロック(AFL)	34
フォーマット	72、105
フラッシュ	31、43
フラッシュ補正	43

フリッカー低減	65
プリント	84
プリント予約	88
プロキャプチャー	33
プログラム撮影(P)	11
プロテクト	15
分割表示	12
編集	60
画像選択	60
画像合成	61
望遠(ズーム)	30
保護	15
ホワイトバランス	38

ま行

ムービー再生	18
ムービー撮影	17
ムービー録音	58
メニュー	50
📷 撮影メニュー 1	54
📷 撮影メニュー 2	56
🎞️ 動画メニュー	58
▶️ 再生メニュー	59
⚙️ カスタムメニュー	64
🔧 セットアップメニュー	72
メニュー設定	50
モニター調整	73

や行

ユーザー登録	93
--------	----

ら行

ライブコントロール	36
ピクチャーモード	37
シーンモード	25

ISO感度	38
ホワイトバランス	38
AF方式	39
アスペクト	39
画質モード(静止画)	40
画質モード(ムービー)	41
手ぶれ補正(静止画)	42
手ぶれ補正(ムービー)	42
フラッシュ	31、43
フラッシュ補正	43
ドライブ/セルフ	32、44
測光	44
顔優先	44
アクセサリー	45
ライブコンポジット	26、27
リサイズ	60
リセット/カスタム登録	54
連写	32、44
録音	15
録音レベル調整	58
露出基準調整	66
露出補正	32

わ行

ワイヤレスRCフラッシュ	109
ワンタッチホワイトバランス	39
ワンタッチライト	49

OLYMPUS

オリンパス株式会社

● インターネットでの情報入手

<https://olympus-imaging.jp/>

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。
上記 URL より [サポート / ダウンロード] のページへお進みください。

● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）



0570-073-000

ナビダイヤル®

* 携帯電話・PHS からのご利用になれます。

FAX 042-642-7486

* 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 9:30 ~ 18:00

* 年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。